

2024年度
通常支部総会議案書

2024年5月17日
藤沢商工会館ミナパーク 6階多目的ホール

2024年度・2025年度 藤沢支部スローガン

ゼロ災害 繋げるバトン 広げる輪
未来へ遺そう安全文化

< スローガン入選作品：いすゞ自動車(株) 藤沢工場 山崎 裕太氏 >

公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会
藤 沢 支 部

2024年度 通常支部総会 資料 目次

2024年度 通常支部総会次第	P1
第1号議案 2023年度事業報告	
1. 概況	P2～P4
2. 支部活動実施状況	
(1)支部役員会 (2)支部役員幹事会 (3)常設部会等 (4)他団体会議	P5～P10
(5)行事および事業	P11～P14
3. 会員事業場数の推移と構成	P15
4. 表彰	P16
第2号議案 2023年度収支決算報告並びに会計監査報告	
1. 2023年度 正味財産増減計算書(総括表)	P17
2. 2023年度 正味財産増減計算書(内訳書)	P18
3. 2023年度 貸借対照表	P19
4. 2023年度 財産目録	P20
5. 計算書類に対する注記	P21
6. 2023年度会計監査報告	P22
第3号議案 2024年度事業計画(案)	
1. 概況と基本方針	P23～P24
2. 行事計画および事業計画	P25～P26
第4号議案 2024年度収支予算(案)	P27
第5号議案 2024年度支部役員(案)	
1. 2024年度 役員事業場(案)	P28
2. 2024年度 本部理事 及び 本部部会・委員会(案)	P28
3. 2024年度 役員担当(案)	P29
付 録	
1. 公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会 藤沢支部 規約	P30～P35
2. 会費に関する細則	P36
3. 映像教材一覧表(DVD)	P37

2024 年度 通常支部総会 次第

1. 総会開会の辞
2. 総会成立宣言
3. 支部長挨拶
4. 議長選出
5. 議事録署名人 任命
6. 議 事
 - (1) 第 1 号議案 2023 年度事業報告承認の件
 - (2) 第 2 号議案 2023 年度収支決算報告並びに会計監査報告承認の件
 - (3) 第 3 号議案 2024 年度事業計画(案)承認の件
 - (4) 第 4 号議案 2024 年度収支予算(案)承認の件
 - (5) 第 5 号議案 2024 年度支部役員(案)承認の件
7. 議事録署名人 解任
8. 議長解任
9. 来賓者祝辞
10. 総会閉会の辞

<表彰式>

1. 2023 年 藤沢支部無災害事業場表彰
2. 2023 年度 藤沢支部功労者表彰
3. 2024・2025 年度 藤沢支部スローガン入賞作品表彰

『第1号議案』

2023年度 事業報告

1. 概況

2023年度の事業環境は、コロナ禍からの反動需要やインバウンド消費の拡大、大阪万博を契機にした建設需要の増加などにより回復基調の景気は好調に推移しております。一方で、原材料価格やエネルギー価格が高止まりの状況が個人消費の伸びに対する重石となり、未だ先を見通しにくい事業環境が続いています。

そのよう事業環境下、物価上昇への対応や人材確保を強力に推し進める観点から、春闘では多くの会社において近年では例を見ない高いレベルでの賃上げがされ、同時に働き方の改善も進められるなど、経営に携わる皆さまにおかれては対応に大変苦慮されたことと思います。

また、世界情勢に目を転じれば長期化の様相を見せるロシアのウクライナ侵攻や未だ解決の糸口を見いだせない中東情勢など、多くの地政学リスクが存在し、国内外ともに事業環境の変動に引き続き注視が必要な状況は続く見通しであり、不透明な情勢は継続する見通しです。

さて、2023年度は「第14次労働災害防止計画」の初年度ではありますが、神奈川県内では、経済活動の回復と共に全体的に災害発生件数が増加しております。

中でも建設業や輸送交通業において転倒・転落等の重篤災害に繋がるものが断続的に発生しており、死亡災害についても昨年を上回るペースで発生しています。また近年の傾向では「高齢者雇用」においての特徴的災害である“躓き”や“腰痛”等から来る災害も増えています。

今一度、第14次労働災害防止計画の目標である「国、事業者、労働者等の関係者が一体となって、一人の被災者も出さない」という基本理念の実現に向け、気持ちを新たに藤沢支部一体となり計画期間内での達成を目指してまいりたいと思います。

藤沢支部の運営状況について、コロナ禍で実施を見合わせていた講習会について徐々に通常開催に戻した結果、実施件数はコロナ禍以前の水準まで回復しています。また、昨年度から実施している出張講習も継続実施しており、会員企業の皆さまの要望に柔軟にお応えしていく観点からも大きな成果を得ております。

これも一重に実施に向けてご協力頂きました会員事業者様のご尽力のお陰であり感謝申し上げます。

今後についてですが、化学物質管理者の選任義務化やテールゲートリフターの特別教育化など法体系の見直しが予定されている事に対応し、新たな教育計画の策定など積極的に進めてまいります。

以下に、年度当初にご承認をいただきました活動計画に沿って、報告させていただきます。

(1) 時宜に対応した実効ある支部活動の推進

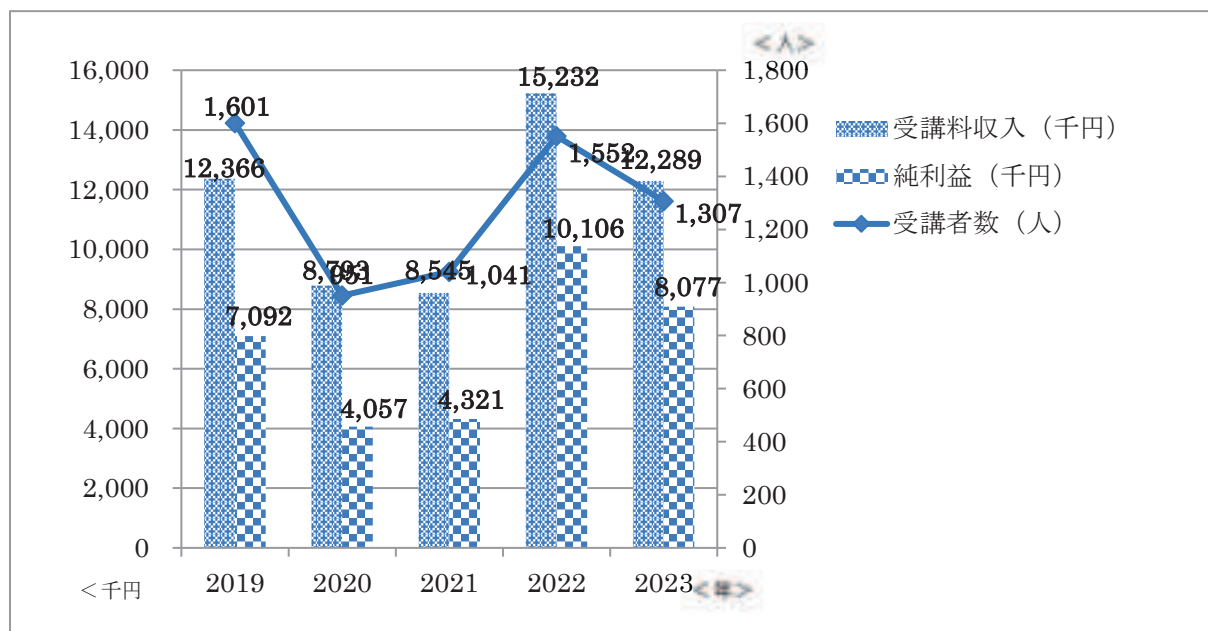
昨年6月下旬には、支部長会社にて藤沢労働基準監督署及び本部役員をお迎えし、労働災害防止についての安全勉強会を行いました。管内では同時期に死亡災害が立て続けに起きてしまい、この事から藤沢労働基準監督署殿から「緊急要請」が当支部長宛に発せられました。これを受け支部でも独自に注意喚起文を作成し「お願い」として会員事業場へ展開致しました。

また年末には管内での労働災害増加を受け「労災防止についての注意喚起」を「お願い」同様に展開致しました。また、藤沢労働基準監督署殿からは、各研修・講習前の労働災害防止についての注意喚起を賜りました。

収益面では、コロナ禍に未実施であった教育活動が再開された昨年度の水準には届かなかったものの、本部をはじめ関係各位のサポートの元、コロナ禍前を上回る純利益を確保し、決算を迎えることが出来ました。また各常設部会を中心にすべて計画通りに実施いたしました。

また、業務の効率化を目指し、応募が無い若しくはそれに等しい講習・研修については実施を見送るなど、効率良い事業運営が実現できました。

(表1) 過去5年間の講習会の事業推移



(2) 第三次産業及び小規模事業場への会員拡大の働きかけ

第三次産業及び小規模事業場への対応や未加入事業場の協会加入の働きかけは、「職長教育」や「安全衛生推進者養成講習会」、「安全管理者選任時研修」等の法定教育や研修会を広く周知するなど、積極的に行ってまいりました。支部のホームページや広報誌でも、協会加入のメリットや各種行事・講習会の主旨を掲載し、会員拡大の働きかけを継続的に実施してまいりました。

(3) 行政及び関係団体との連携強化

藤沢労働基準監督署をはじめとする行政機関の諸施策に対し、会員事業場への働きかけを行うとともに、行政運営方針の橋渡しを推進してまいりました。神奈川県労働局より発信される法令・規則等の改正案内や協力要請に関する通達の会員事業場への展開をはじめ、各種講習会や各部会へ藤沢労働基準監督署より積極的なご参加をいただき、時宜に応じたご指導をいただくことで、連携をさらに強めることが出来たと感じます。

‘23年7月には(公社)神奈川県医師会と当協会藤沢支部で構成する湘南地区産業保健連絡協議会の活動において、日本医師会認定産業医制度産業医学研修会を実施しました。医師会認定の産業医資格認定の為の法定講習として、「労働衛生について」や「大規模事業場の衛生管理について」をテーマに支部長会社にて実施されました。

また、‘24年1月には藤沢署関係団体連絡協議会5団体共催のもと行った、経営者セミナーでは「最近の労働行政をめぐる諸問題について」をテーマとした基調講演を開催し、多くの企業の意識改革を図ると共に会員同士の連携強化に繋がる施策を実施いたしました。

(4) 公益社団法人としての適正かつ健全な神奈川労務安全衛生協会藤沢支部運営

会員事業場の皆様のご意見、藤沢労働基準監督署及び協会本部のご指導をいただきながら、公益社団法人神奈川労務安全衛生協会藤沢支部としての適正かつ健全な支部運営を行ってまいりました。また、来期も支部の運営に欠かせない講習会受講者数を確保できるように時宜に応じたテーマも取り入れた有意義且つ有益な講習会の開催を行ってまいります。

(5) 会員減少組織対策

2023年度の新規入会事業場は0社に対し退会事業場は9事業場あり、総数316から307事業場となり微減では有るものの会員が減少する傾向はここ近年変わっておりません。事業所の移転などが主な退会理由となりますが、今後も更に会員事業場の皆様が参加しやすい講習会の開催や時宜に応じた取り組みを企画し、会員減少に歯止めをかける手立てを行うと共に管内へ転入した事業所に対する積極的な加入促進活動を行うことが必須と考えております。本部や藤沢労働基準監督署のご指導を仰ぎながら、会員事業場の皆様方のお力添えを賜りたいと思っております。

最後に、2023年度の労働災害発生状況について、藤沢労働基準監督署管内の発生件数は昨年比で良化していますが、死亡災害の発生件数は昨年を上回る状況です。「第14次労働災害防止推進計画」の二年目にあたっては、重篤な災害が発生しないよう、安全の取り組みが各社の企業文化に根付くような本質的な取り組みに繋がるよう、労務安全衛生活動を推進しなくてはならないと認識しております。そのためには、当協会も適正で充実した労務安全衛生活動を行えるように事業運営にあたってまいりますので、今後も皆様方の一層のご指導、お力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2022年度2023年度の支部活動のスローガンとして、「安全は一人ひとりの意識から 世代をつなぐ安全対話 みんなで築く快適職場」を掲げ2年間取り組んでまいりました。労働災害の防止には、すべての職場が世代を超えてお互いに指摘し合えるような活発なコミュニケーションが行われる職場風土であることが一番重要だと考えます。職場のみんなが安全な職場を作り上げるための取り組みに努めていただくことを改めてお願い致します。

2. 支部活動実施状況

(1) 支部役員会〈会場：藤沢市建設会館〉

開催年月日	議事・審議事項等
<p>4月14日 藤沢市建設会館 4F 大会議室 WEB会議</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会の挨拶 森支部長 2. 藤沢労働基準監督署 署長挨拶・人事異動に伴う新任者挨拶 署長挨拶 安全衛生課長挨拶 3. 支部役員交代による新役員紹介 事務局より交代役員ならびに変更箇所について報告 4. 藤沢労働基準監督署の助言・指導 5. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 本部報告事項 報告該当事項特に無し (2) 支部報告 <ol style="list-style-type: none"> 1) 2023年度通常支部総会について 2) 連絡事項 <ol style="list-style-type: none"> ① 2023年度藤沢支部運営について ② 他団体関係について 6. 閉会の挨拶 西村副支部長
<p>12月13日 藤沢市建設会館 4F 大会議室</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会挨拶 森支部長 2. 藤沢労働基準監督署挨拶 下川署長 3. 藤沢労働基準監督署助言・指導 伊地知安全衛生課長 4. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 本部報告事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 支部連絡会(12/8) 2) 専門部会(労務・安全・衛生・広報)からの会議報告 (2) 支部事業関係 <ol style="list-style-type: none"> 1) 入退会状況 12/1 現在：311社(4/1：316社) 2) 2023年度収支予測 <ol style="list-style-type: none"> ① 2023年度収支予測 ② 2023年度技能・教育講習収支予測 2) 審議事項 <ol style="list-style-type: none"> ① 労務安全衛生協会藤沢支部、業務補助員の増員について ② 2024年度事業計画案について (3) 報告連絡事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 事務局報告 <ol style="list-style-type: none"> ① 令和5年度神奈川労務安全衛生大会 ② 全国産業安全衛生大会 ③ 2024年安全衛生祈願について ④ 2023年藤沢支部「無災害事業場表彰」制度について ⑤ 「2024・2025年度藤沢支部スローガン」募集の案内及び審査方法 ⑥ 2024年度通常支部総会について (4) 他団体会議報告 7. 閉会挨拶 河端副支部長代行
<p>3月22日 藤沢市建設会館 4F 大会議室</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会挨拶 森支部長 2. 藤沢労働基準監督署挨拶 下川署長 3. 藤沢労働基準監督署助言・指導 伊地知安全衛生課長 4. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 本部報告事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 支部連絡会(3/8) 2) 専門部会(労務・安全・衛生・広報)からの会議報告 (2) 支部事業関係 <ol style="list-style-type: none"> 1) 2023年度収支予測 <ol style="list-style-type: none"> ① 2023年度収支予測 ② 2023年度技能・教育講習収支予測 2) 審議事項 <ol style="list-style-type: none"> ① 来年度の体制について ② 2024年度事業計画案について (3) 報告連絡事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 事務局報告 <ol style="list-style-type: none"> ① 入退会状況 3/22 現在：309社(4/1：316社) ② 2023年藤沢支部無災害事業場表彰申請事業数 1事業場申請 ③ 2024年度藤沢支部事業予定および講習会等開催予定 (4) 他団体会議報告 <ol style="list-style-type: none"> 1) 藤沢地域陸運事業者及び荷主等連絡連絡会・協議会(2/26) 2) 藤沢労働基準監督署関係団体連絡協議会(2/26) 3) 湘南地区産業保健連絡協議会(3/7) 7. 閉会挨拶 西村副支部長

(2) 支部役員幹事会 <会場：藤沢商工会館ミナパーク>

開催日・会場等	議事・審議事項等
<p>5月31日 ミナパーク 301会議室</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 役員交代による新役員紹介 2. 藤沢労働基準監督署の助言・指導 3. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 本部報告事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 第41回理事会(5/9)報告 2) 令和5年度第1回支部連絡会議(5/12) 3) 各部会からの連絡・報告事項 (2) 支部事業 <ol style="list-style-type: none"> 1) 常設部会報告 (労務部会5/19・安全部会4/21・衛生部会5/22・広報部会4/10, 5/18) 2) 行事及び事業報告・計画 <ol style="list-style-type: none"> ① 支部事業予定 ② 支部講習会等開催予定 (3) 連絡事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 入退会状況 5/1 現在：315 社(4/1：316 社) (4) 他団体会議報告 <ol style="list-style-type: none"> 1) 藤沢労働基準監督署関係団体連絡連絡会・協議会(4/25) 2) 湘南地区産業保健連絡協議会(5/12) (5) 藤沢支部における労働災害防止活動災害防止へ向けた安全勉強会について 6月28日(水) いすゞ自動車(株)藤沢工場
<p>10月25日 ミナパーク 301会議室</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 藤沢労働基準監督署の助言・指導 2. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 本部報告事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 専門部会(企画部会：8/25・；労務部会7/12・安全部会7/10 ・衛生部会7/19・広報部会9/14) 2) 支部連絡会議(10/14) (2) 支部事業 <ol style="list-style-type: none"> 1) 常設部会報告 (労務部会7/20・安全部会7/14・衛生部会7/28・広報部会7/15) 2) 行事及び事業報告・計画 <ol style="list-style-type: none"> ① 支部行事広告・計画 ② 常設部会行事広告・計画 (3) 連絡事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 2023年度上期収支報告(4月-9月) <ol style="list-style-type: none"> ① 入退会状況10/1 現在：311 社(4/1：316 社) ② 2023年度上期収支報告 ③ 2023年度上期技能・教育講習収支報告 2) 「2023年藤沢支部 無災害事業場表彰」制度の案内 (4) 他団体会議報告 <ol style="list-style-type: none"> 1) 藤沢労働基準監督署関係団体連絡連絡会・協議会(10/24) 2) 湘南地区産業保健連絡協議会(11/9)
<p>2月21日 ミナパーク 501会議室</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 藤沢労働基準監督署の助言・指導 2. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 本部報告事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 本部報告連絡事項 <ol style="list-style-type: none"> ① 令和5年度支部活動費 2) 専門部会開催予定(企画部会2/15・労務部会2/7・安全部会2/5 ・衛生部会2/9・広報部会12/15・3/15) (2) 支部事業 <ol style="list-style-type: none"> 1) 2023年度収支報告(2024.1月末) <ol style="list-style-type: none"> ① 2023年度収支報告 ② 2023年度技能・教育講習収支報告 2) 常設部会報告 (労務部会1/26・安全部会11/10 ・衛生部会12/9.3/2・広報部会12/9.2/10) (3) 審議事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 2024年度事業計画(案) 2) 2024年度収支予算(案) 3) 2024年度通常支部総会 (4) 連絡・報告事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 入退会状況 2/21 現在：309 社(4/1：316 社) 2) 2023年藤沢支部 無災害事業場表彰申請事業数(1事業場申請) (5) 他団体会議報告 <ol style="list-style-type: none"> 1) 藤沢労働基準監督署関係団体連絡連絡会・協議会(2/26) 2) 湘南地区産業保健連絡協議会(3/7)

(3) 常設部会等

1) 労務部会 <会場：藤沢商工会館ミナパーク、藤沢労働基準監督署 4F会議室、他>

開催年月日	議事・審議事項等
5月19日 ミナパーク 501会議室	1. 藤沢労働基準監督署からの伝達/連絡事項 2. 本部、支部関係報告 3. 労務管理セミナー実施案検討(実施日：9/19)
7月20日 ミナパーク 507会議室	1. 藤沢労働基準監督署からの伝達/連絡事項 2. 労務管理セミナー実施について(実施日：9/19) 3. 事務局より連絡事項
11月15日 ミナパーク 301会議室	1. 藤沢労働基準監督署からの伝達/連絡事項 2. 2023年度2月労務管理研修会、2024年度新入社員安全衛生教育担当引受について 3. 事務局より連絡事項
1月26日 ミナパーク 301会議室	1. 藤沢労働基準監督署からの伝達/連絡事項 2. 2024年度新入社員安全衛生教育について 3. 事務局より連絡事項

2) 安全部会 <会場：藤沢商工会館ミナパーク>

開催年月日	議事・審議事項等
4月21日 ミナパーク 507会議室 およびWEB会議	1. 藤沢労働基準監督署よりの伝達、連絡事項 2. 安全部会事業について (1) 今後の事業確認(10事業) (2) その他、今後の講習会アンケートについて 3. 審議事項 (1) 第96回全国安全週間湘南地区推進大会役割分担について
7月14日 ミナパーク 302会議室 およびWEB会議	1. 藤沢労働基準監督署よりの伝達、連絡事項 2. 安全部会事業について (1) 事業結果報告(9事業)と確認(反省点、改善点など) (2) 今後の事業確認(5事業) (3) その他 3. 審議事項 (1) 講習会司会要領見直し (2) 今後の講習会アンケートの方向性について
11月16日 506会議室 およびWEB会議	1. 藤沢労働基準監督署よりの伝達、連絡事項 2. 安全部会事業について (1) 事業結果報告(5事業)と確認(反省点、改善点など) (2) 今後の事業確認(11事業) 3. 審議事項 (1) 講習会アンケート(案)について (2) 議事録及び機関紙寄稿順番について (3) 2023年度安全部会事業担当分配表見直しについて
3月10日 506会議室 およびWEB会議	1. 藤沢労働基準監督署よりの伝達、連絡事項 2. 安全部会事業について (1) 事業結果報告(11事業)と確認(反省点、改善点など) (2) 今後の事業確認(1事業) 3. 審議事項 (1) 講習会司会要領見直しについて (2) 講習会アンケート内容について

3) 衛生部会 <会場：藤沢商工会館ミナパーク>

開催年月日	議事・審議事項等
4月10日 ミナパーク 506会議室	1. 藤沢労働基準監督署連絡事項 2. 衛生部会役員・部会員の交代 3. 衛生部会事業確認 4. 今後の会議等予定 5. 事務局からの連絡事項
7月28日 ミナパーク 505会議室	1. 支部長方針伝達 2. 藤沢労働基準監督署連絡事項 3. 支部報329号執筆担当者確認 4. 全国労働衛生週間推進大会役割分担と段取り確認 5. 衛生支部事業結果報告(4事業)と今後の事業確認(8事業) 6. 健康づくり研修会&認定産業医研修会、研修内容審議 7. 事務局からの連絡事項
12月14日 ミナパーク 507会議室	1. 藤沢労働基準監督署連絡事項 2. 衛生支部事業結果報告(7事業)と今後の事業確認(3事業) 3. 事務局からの連絡事項 4. 今後の会議等予定
2月29日 Fプレイス 労働会館ホール	1. 藤沢労働基準監督署からの連絡事項 2. 衛生支部事業結果報告(3事業) 3. 2023年度事業計画と役割分担確認 4. 事務局からの連絡事項 5. 今後の会議予定

4) 広報部会 <会場：藤沢商工会館ミナパーク>

開催年月日	議事・審議事項等
4月17日 ミナパーク 501会議室	1. 支部報331号の発行計画確認
5月18日 ミナパーク 504会議室	1. 支部報331号の編集・校正 2. 支部報332号の発行計画確認
6月14日 ミナパーク 301会議室	1. 支部報332号の編集・校正 2. 支部報333号の発行計画確認
9月14日 ミナパーク 301会議室	1. 支部報333号の編集・校正 2. 支部報334号の発行計画確認
11月10日 ミナパーク 506会議室	1. 支部報334号の編集・校正
2月8日 ミナパーク 506会議室	1. 2024年度役員体制および役割分担確認 2. 2024年度支部報、活動計画日程確認

5) 物流対策委員会(安全部会下部組織)

開催年月日	議事・審議事項等
8月4日	1. 委員会委員紹介 2. 藤沢労働基準監督署連絡事項 3. 藤沢地域陸運事業者及び荷主等における連絡協議会(7/25)報告 4. 荷役災害防止の取組(事例)状況・問題点等の紹介
3月5日	1. 藤沢労働基準監督署連絡事項 2. 藤沢地域陸運事業者及び荷主等における連絡協議会(2/26)報告 3. 荷役災害防止の取組(事例)状況・問題点等の紹介 4. 2024年度協議事項(事業予定)の検討

6) 産業活動委員会(衛生部会下部組織)

開催年月日	議事・審議事項等
7月13日	日本医師会認定産業医研修に4名参加

(4) 他団体会議

1) 藤沢労働基準監督署関係団体連絡会議

開催年月日	議事・審議事項等
4月25日 藤沢労働基準 監督署 4F会議室	1. 藤沢労働基準監督署連絡事項 2. 各関係団体連絡事項 3. 関係団体間の協力に関する要望(協会支部からの報告事項) (1) 2023年度主な事業予定(年間) (2) 2023年度講習会事業の報告(4月)並びに事業予定(5月-9月) (3) 2023年度湘南地区産業保健連絡協議会の事業予定(上期)
7月25日 藤沢労働基準 監督署 4F会議室	1. 藤沢労働基準監督署連絡事項 2. 各関係団体連絡事項 3. 関係団体間の協力に関する要望など(協会支部からの報告事項) (1) 2023年度通常支部総会の開催報告 (2) 2023年度講習会事業の報告(5月-7月)並びに事業予定(8月-10月) (3) 2023年度湘南地区産業保健連絡協議会の事業予定(下期)
10月24日 藤沢労働基準 監督署 4F会議室	1. 藤沢労働基準監督署連絡事項 2. 各関係団体連絡事項 3. 関係団体間の協力に関する要望(協会支部からの報告事項) (1) 2023年度主な事業予定(10月-1月) (2) 2023年度講習会事業の報告(8月-10月)並びに事業予定(11月-3月) (3) 2023年度湘南地区産業保健連絡協議会の事業予定(下期)
2月26日 藤沢労働基準 監督署 4F会議室	1. 藤沢労働基準監督署連絡事項 2. 各関係団体連絡事項 3. 関係団体間の協力に関する要望(協会支部からの報告事項) (1) 2023年度主な事業報告(11月-1月) (2) 2023年度講習会事業の報告(11月-2月)並びに事業予定(3月) (3) 2024年度事業ならびに講習会予定(案) (4) 2023年度湘南地区産業保健連絡協議会の事業予定(2月-3月) (5) 2024年度藤沢労働基準監督署関係団体連絡協議会議開催日(案)

2) 藤沢労働基準監督署関係団体連絡協議会

開催年月日	議事・審議事項等
4月25日 藤沢労働基準 監督署 4F会議室	1. 2023年4月1日 繰越額の報告 2. 令和5年度(2023年度)事業計画 (1) 第96回全国安全週間湘南地区推進大会 (2) 第74回全国労働衛生週間湘南地区推進大会 3. 令和6年度(2024年度)事業計画(案) (1) 第97回全国安全週間湘南地区推進大会日程案 (2) 第75回全国労働衛生週間湘南地区推進大会日程案 (3) 令和6年度の推進大会特別講演について 4. 懸案事項 (1) 経営者セミナーの開催について
7月25日 藤沢労働基準 監督署 4F会議室	1. 第96回全国安全週間湘南地区推進大会の報告について 2. 第74回全国労働衛生週間湘南地区推進大会の開催について 3. 経営者セミナーについて 4. 令和6年度(2024年度)事業予定について 5. 懸案事項 令和6年度(以降)の推進大会特別講演について
10月25日 藤沢労働基準 監督署 4F会議室	1. 第74回全国労働衛生週間湘南地区推進大会の報告について 2. 2023年度収支報告(10月25日現在) 3. 令和6年度(2024年度)事業について (1) 第97回全国安全週間湘南地区推進大会日程 (2) 第75回全国労働衛生週間湘南地区推進大会日程 4. 令和5年度経営者セミナーについて
2月26日 藤沢労働基準 監督署 4F会議室	1. 令和5年度(2023年度)収支報告 2. 令和6年度(2024年度)事業について (1) 第97回全国安全週間湘南地区推進大会日程について (2) 第75回全国労働衛生週間湘南地区推進大会日程について (3) 安全・労働衛生推進大会 特別講演講師について(案) 3. その他・全般 (1) 令和6年度(2024年度)全国安全・労働衛生週間湘南地区推進大会会場について (2) 令和6年度経営者セミナーの報告について 4. 2024年度 藤沢労働基準監督署関係団体連絡協議会議開催日(案)

3) 藤沢地域陸運事業者及び荷主等連絡協議会

開催年月日	議事・審議事項等
7月25日 藤沢労働基準 監督署 4F会議室	1. 藤沢労働基準監督署連絡事項 2. 各団体での荷役災害防止の取組状況 (1) 連絡協議会の経過(規約見直し含む) (2) 前回の連絡協議会以降の各団体の取組(好事例・問題点)
2月26日 藤沢労働基準 監督署 4F会議室	1. 藤沢労働基準監督署連絡事項 2. 各団体での荷役災害防止の取組状況 (1) 連絡協議会の経過 ・前回の連絡協議会以降の各団体の取組(好事例・問題点) (2) 次年度の開催予定等

4) 湘南地区産業保健連絡協議会

開催年月日	議事・審議事項等
5月11日 藤沢労働 基準監督署 4F会議室	1. 藤沢労働基準監督署連絡事項 2. 議題 (1) 2023年度事業報告 (2) 2023年度収支報告 (3) 2023年度事業計画について (4) 2023年度湘南地区産業保健連絡協議会 年度会費について (5) 健康づくり研修会&日本医師会認定産業医制度産業医学研修会について
11月9日 藤沢労働 基準監督署 4F会議室	1. 藤沢労働基準監督署連絡事項 2. 議題 (1) 2023年度上期事業報告 (2) 2023年度下期事業計画 (3) 2023年度事業予定(案)
3月9日 藤沢労働 基準監督署 4F会議室	1. 藤沢労働基準監督署連絡事項 2. 議題 (1) 2023年度下期事業報告 (2/29実施：日医認定産業医制度指定研修会(兼)健康づくり研修会) について (2) 審議事項 1) 2023年度収支報告 2) 2024年度事業計画 3) 2024年度年度会費および研修会助成金について(規約第7条第1項) (3) 承認事項 (4) その他全般

(5) 行事および事業

1) 支部全体行事

行事名	実施月日	会場	出席数	内容	
2023年度 通常支部総会	5月9日	藤沢商工会館 ミナパーク 多目的ホール1. 2	会員50名 来賓者3名	2022年度1号議案～第4号議案まで満場一致で可決 ＜議事＞ 第1号議案 2022年度事業報告承認の件 第2号議案 2022年度収支決算報告並びに 会計監査報告承認の件 第3号議案 2023年度事業計画(案)承認の件 第4号議案 2023年度収支予算(案)承認の件 第5号議案 2023年度支部役員(案)承認の件	
表彰式			会員数 315社：出席数50社・委任状提出132社・合計182社 規約20条1項の定めによる会員総数の1/2を超え総会が成立	2023年無災害事業場表彰(4社)、2023年度支部功労者表彰(2名)	
関係団体事業	第96回 全国安全週間 湘南地区 推進大会	6月8日	藤沢市民会館 小ホール	合計163名 安衛 98名 建災 38名 陸災 15名 社労 7名 コンサル 5名	1. 開会挨拶 陸上貨物運送事業労働災害防止協会 分会長 大竹浩氏 2. 来賓挨拶 藤沢労働基準監督署 署長 下川眞徳氏 3. 来賓祝辞 茅ヶ崎市 市長 佐藤光氏 4. 趣旨説明 藤沢労働基準監督署 安全衛生課長 伊地知秀一氏 5. 特別講演 テールゲートリフターによる荷役作業における特別教育の 義務化 ～安全かつ効率的に作業するためのポイント～ 独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所 上席研究員 大西 明宏氏 6. 閉会挨拶 建設業労働災害防止協会神奈川支部湘南分会 分会長 小玉 徹氏
	第74回 全国労働衛生週間 湘南地区 推進大会	9月7日	藤沢市民会館 小ホール	合計138名 安衛87名 健災32名 陸災10名 社労 5名 コンサル 4名	1. 開会挨拶 (一社)日本労働安全衛生コンサルタント会神奈川支部 支部長 吉久巧三氏 2. 来賓挨拶 藤沢労働基準監督署 署長 下川眞徳氏 3. 来賓祝辞 寒川町 町長 木村俊雄氏 4. 趣旨説明 藤沢労働基準監督署 安全衛生課長 伊地知秀一氏 5. 特別講演 「転倒・腰痛・労災対策に資する 運動実践・体力の必要性」 株式会社ハイクラス 代表取締役 位高駿夫氏 6. 閉会挨拶 神奈川県社会保険労務士会 藤沢支部 支部長 松尾亮一氏
	令和5年度 経営者セミナー	1月18日	藤沢商工会館 ミナパーク 多目的ホール1. 2	合計79名 安衛 36名 建災 12名 陸災 11名 ボイ 3名 社労 11名 コンサル 6名	1. 開会挨拶 建設業労働災害防止協会神奈川支部湘南分会 分会長 小玉 徹氏 2. 来賓挨拶 藤沢労働基準監督署 署長 下川眞徳氏 3. 基調講演 神奈川労働局 労働基準部長 加納圭吾氏 「最近の労働行政をめぐる諸問題について」 4. 特別講演 （一社）話力総合研究所 理事長 秋田義一氏 「～しごとがうまくいく～しごと力を高めるビジネス コミュニケーション（話し方、聴き方）の秘訣」 5. 閉会挨拶 （公社）神奈川労務安全衛生協会 藤沢支部支部長 森淳美氏
安全衛生祈願	1月12日	鶴岡八幡宮	労働基準監督署 下川署長・伊地知課長 森支部長・西村副支部長 金子支部長代行・河端副支部長代行・事務局		

2) 常設部会担当事業

担当	事業名	実施月日	会場	受講数		内容
	●法定講習			社	人	
労務部会	労務管理セミナー	9月19日	藤沢市建設会館 4F大会議室	13	15	★「障害者と外国人の就労支援について」 ・藤沢労働基準監督署 第一方面主任 青山 文和氏 ★「障害者雇用と外国人雇用の助成金について」 ・障害者関係 雇用指導官 細谷 弘明氏 ・助成金関係 事業主支援アドバイザー 梶原 秀盛氏 ・外国人関係 外国人労働者専門官 小沢 綾子氏 ★「不祥事を起こした社員への会社の対応事例について」 ～警察での接見、刑事告訴、民事訴訟、懲戒処分からマスコミ対応等まで～ ・弁護士法人シティ総合法律事務所 代表弁護士 会田 岳央氏
	●安全管理者 選任時研修	4月12日	藤沢市建設会館 4F大会議室	19	35	1.安全管理(3時間) 2.事業場における安全衛生の水準の向上を図ることを目的として 事業者が一連の過程を定めて行う自主活動(3.0時間) (危険性又は有害性等の調査及びその結果に基づき講ずる措置を含) 3.安全教育(1.5時間) 4.関係法令(1.5時間) ★徳嶋秀明・藤原健朗
		10月10日		18	22	
	●フルハーネス型 墜落制止用具 特別教育	5月16日		17	28	1.作業に関する知識(1.0時間) 2.墜落制止用器具に関する知識(2.0時間) 3.労働災害防止に関する知識(1.0時間) 4.関係法令(0.5時間) 5.墜落制止用器具の使用方法等(1.5時間) ★阿部丈夫 実技補助:藤原健朗
		6月16日		15	23	
		7月6日		15	35	
		10月31日		19	33	
		12月7日		16	34	
		2月6日		12	14	
	●職長教育	4月26日27日		19	40	1.指導・教育の進め方/監督・指示の方法(2.5時間) 2.適正配置/作業手順の定め方(2.0時間) 3.設備の改善/環境改善の方法と環境条件の保持/ 作業方法の改善/リスクアセスメントの実施とその結果に 基づくリスク低減措置(4.0時間) 4.異常時における措置/災害発生時における措置(1.5時間) 5.整理整頓と安全衛生点検/労働災害防止についての関心の 保持および労働者の創意工夫を引き出す方法(2.0時間) ★徳嶋秀明・藤原健朗・井上道雄
6月5日6日		18		41		
7月10日11日		19	40			
10月2日3日		22	43			
12月4日5日		19	41			
1月15日16日		19	42			
2月19日20日		18	41			
●職長能力向上 教育	8月30日	12	21	1.基本項目(3時間) 職長等の役割と職務/製造業における労働災害の動向 「リスク」の基本的考え方を踏まえた職長等として行う べき労働災害防止活動/ 危険性又は有害性等の調査及びその結果に基づき 講ずる措置/異常時等における措置/ 部下に対する指導力の向上(リーダーシップなど)/ 関係法令に係る改正の動向 2.専門項目(1時間) 事業場における安全衛生活動/ 労働安全衛生マネジメントシステムの仕組み/ 部下に対する指導力の向上 3.グループ討議(2時間) 危険性又は有害性等の調査及びその結果に基づき 講ずる措置 ★藤原健朗・徳嶋秀明		
	1月30日	9	14			
●低圧電気取扱 業務特別教育 (学科のみ)	6月26日	5	8	1.低圧電気に関する基礎知識(1時間) 2.低圧電気設備に関する基礎知識(2時間) 3.低圧用安全作業用具に関する基礎知識(1時間) 4.低圧の活線作業及び活線近接作業の方法(2時間) 5.関係法令(時間) ★内沼創一朗		
●フォークリフト (1t以上) 運転業務従事者 安全教育	2月1日	中止		1.最近のフォークリフトの特徴(2.0時間) 2.フォークリフト取扱いと保守(2.0時間) 3.災害事例と関係法令(2.0時間) ★徳嶋秀明・島田章		
リスクアセスメント 研修会	6月20日	10	20	1.リスクアセスメント導入の背景(概要) 2.リスクアセスメントの進め方リスクアセスメント実施事例 3.演習等 ★徳嶋秀明・藤原健朗(6/20)		
	12月13日	中止				
安全部会	●安全管理者 選任時研修	4月12日	藤沢市建設会館 4F大会議室	19	35	1.安全管理(3時間) 2.事業場における安全衛生の水準の向上を図ることを目的として 事業者が一連の過程を定めて行う自主活動(3.0時間) (危険性又は有害性等の調査及びその結果に基づき講ずる措置を含) 3.安全教育(1.5時間) 4.関係法令(1.5時間) ★徳嶋秀明・藤原健朗
		10月10日		18	22	
		5月16日		17	28	
		6月16日		15	23	
		7月6日		15	35	
		10月31日		19	33	
		12月7日		16	34	
		2月6日		12	14	
		4月26日27日		19	40	
		6月5日6日		18	41	
7月10日11日	19	40				
10月2日3日	22	43				
12月4日5日	19	41				
1月15日16日	19	42				
2月19日20日	18	41				
8月30日	12	21	1.基本項目(3時間) 職長等の役割と職務/製造業における労働災害の動向 「リスク」の基本的考え方を踏まえた職長等として行う べき労働災害防止活動/ 危険性又は有害性等の調査及びその結果に基づき 講ずる措置/異常時等における措置/ 部下に対する指導力の向上(リーダーシップなど)/ 関係法令に係る改正の動向 2.専門項目(1時間) 事業場における安全衛生活動/ 労働安全衛生マネジメントシステムの仕組み/ 部下に対する指導力の向上 3.グループ討議(2時間) 危険性又は有害性等の調査及びその結果に基づき 講ずる措置 ★藤原健朗・徳嶋秀明			
1月30日	9	14				
6月26日	5	8	1.低圧電気に関する基礎知識(1時間) 2.低圧電気設備に関する基礎知識(2時間) 3.低圧用安全作業用具に関する基礎知識(1時間) 4.低圧の活線作業及び活線近接作業の方法(2時間) 5.関係法令(時間) ★内沼創一朗			
2月1日	中止		1.最近のフォークリフトの特徴(2.0時間) 2.フォークリフト取扱いと保守(2.0時間) 3.災害事例と関係法令(2.0時間) ★徳嶋秀明・島田章			
6月20日	10	20	1.リスクアセスメント導入の背景(概要) 2.リスクアセスメントの進め方リスクアセスメント実施事例 3.演習等 ★徳嶋秀明・藤原健朗(6/20)			
12月13日	中止					

担当	事業名	実施月日	会場	受講数		内 容
	●法定講習			社	人	
安全部会	KYT研修会 (危険予知訓練)	7月5日	藤沢市建設会館 4F大会議室	11	29	1.KYTの考え方／健康KY／指差し呼称とタッチアンドコール 2.KYT基礎4R法の進め方 3.KYT4R法演習等 ★徳嶋秀明・藤原健朗
		1月24日		8	21	
	●アーク溶接等の業務に係る特別教育	11月27日28日 29日	(株)神戸製鋼所 藤沢事業所	6	12	1.関係法令<1.0時間> 2.アーク溶接等に関する知識<1.0時間> 3.アーク溶接装置に関する基礎知識<3.0時間> 4.アーク溶接等の作業方法に関する基礎知識<3.0時間> 5.アーク溶接装置の取扱い及びアーク溶接等の作業の方法<10.0時間> ★(株)神戸製鋼所事業所 座学・実技指導講師
	●機械研削といしの取り替え又は取替時業務に係る特別教育	10月5日6日	いすゞ自動車(株) 藤沢工場 いすゞものづくり サービストレー ニングセンター	15	28	1.機械研削用研削盤、機械研削用といし、 取り付具等に関する知識<2.0時間> 2.機械研削用といしの取付け方法及び 試運転の方法に関する知識<1.0時間> 3.関係法令<1.0時間> 4.機械研削用といしの取付け方法及び試運転の方法<2.0時間> ★いすゞ自動車(株)藤沢工場実技指導講師
	●自由研削といしの取り替え又は取替時業務に係る特別教育	11月20日	いすゞ自動車(株) 藤沢工場 いすゞものづくり サービストレー ニングセンター	12	30	1.自由研削用研削盤、自由研削用といし、 取り付具等に関する知識<2.0時間> 2.自由研削用といしの取付け方法及び 試運転の方法に関する知識<1.0時間> 3.関係法令<1.0時間> 4.自由研削用といしの取付け方法及び試運転の方法<2.0時間> ★いすゞ自動車(株)藤沢工場実技指導講師
衛生部会	●衛生推進者 養成講習	6月29日	藤沢市建設会館 4F大会議室	20	21	1.労働衛生管理<1.0時間> 2.作業環境管理及び作業管理<1.0時間> 3.労働衛生関係法令<1.0時間> 4.健康の保持増進対策<1.0時間> 5.労働衛生教育<1.0時間> ★久富美紀子
		11月6日		3	5	
	●安全衛生推進者 養成講習会	6月29日30日		16	21	1.安全管理<2.0時間> 2.危険性又は有害性等の調査及び その結果に基づき講ずる措置等<2.0時間> 3.作業環境管理及び作業管理<2.0時間> 4.健康の保持増進対策<1.0時間> 5.安全衛生教育<1.0時間> 6.安全衛生関係法令<2.0時間> ★久富美紀子(6/29,11/6) ★秋谷泰男(6/30,11/7)
		11月6日 7日		11	13	
	●日本医師会産 業医認定研修	7月13日		—	46	1.「大規模事業場の概要と職場巡視及び事後討論」 基礎研修会(実地研修)・生涯研修会(実地研修)1単位 ★中尾誠利(茅ヶ崎医師会理事) 2.「大規模事業場の衛生管理について」～大規模事業場における 産業保健の課題～ 基礎研修会(後期研修)・生涯研修会(専門研修)1単位 ★いすゞ自動車株式会社(株) 産業医 小井手裕一 2.「労働衛生について」 基礎研修(後期研修)・生涯研修(更新研修) 1単位 ★下川真徳(藤沢労働基準監督署長)
	●有機溶剤業務 従事者に対する 特別な労働衛生 教育	8月31日		10	26	1.関係法令<0.5時間> 2.有機溶剤による疾病及び健康管理<1.0時間> 3.作業環境管理<2.0時間> 4.保護具の使用<1.0時間> ★秋谷泰男・鶴田光
		2月13日				
●粉じん作業 特別教育	6月13日	20	33	1.粉じんに係る疾病及び健康管理<1.0時間> 2.粉じんによる疾病の防止<1.0時間> 3.粉じん作業の管理<1.0時間> 4.呼吸用保護具の種類と使用の方法<0.5時間> 5.関係法令<1.0時間> ★秋谷泰男		
	8月25日	20	43			
	11月13日	16	37			
	1月19日	16	37			

担当	事業名	実施月日	会場	受講数		内 容
	●法定講習			社	人	
衛生部会	化学物質管理者選任のための研修	9月25日	藤沢市建設会館 4F大会議室	16	38	1 化学物質の危険性又は有害性並びに表示等 1.5 時間 2 化学物質の危険性又は有害性の調査 2.0 時間 3 化学物質の危険性又は有害性等の調査の結果に基づく措置等その他必要な記録等 1.5 時間 4 化学物質を原因とする災害発生の対応 0.5 時間 5 関係法令 0.5 時間 ★講師(敬称略)
	健康づくり研修会 <産健連共催事業>	2月29日	Fプレイス 労働会館ホール	42	45	1.「労働衛生」について 基礎研修(後期研修)・生涯研修(更新研修) 1単位 ★下川眞徳(藤沢労働基準監督署長) 2.職場の新たな化学物質管理と産業医の接点～化学物質のリスクアセスメント～健康診断・事後措置まで～ 基礎研修会(実地研修)・生涯研修会(実地研修)1単位 ★山本健也(日本産業医学会指導医) 3.産業医が行う業種別職場巡視のポイントと演習討論 基礎研修(後期研修)・生涯研修(専門研修) 1単位 ★中尾誠利(茅ヶ崎医師会理事)・赤前幸隆(神奈川産業保健総合支援センター副所長)
広報部会	新入社員等安全衛生教育	4月4日	藤沢市建設会館 4 F 大会議室	7	24	1.挨拶 ★藤沢労働基準監督署 署長 下川眞徳氏 2.安全衛生 ★徳嶋秀明氏 ★井上 道雄氏
	新入社員等安全衛生教育	4月7日	藤沢市建設会館 4 F 大会議室	9	48	1.挨拶 ★藤沢労働基準監督署 署長 下川眞徳氏 2.安全衛生 ★徳嶋秀明氏 ★井上 道雄氏
		発行No.	発行月日	記事内容		
		第331号	5月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度通常支部総会開催される 5月9日(火) 於:藤沢商工会議所ミナパーク多目的ホール ・202Ⅱ年度 支部功労者表彰 ・2022・2023年度 スローガン表彰 ・着任のご挨拶 藤沢労働基準監督署 安全衛生課長 伊地知秀一氏 ・着任のご挨拶 藤沢労働基準監督署 労災課長 中越盛司氏 ・着任のご挨拶 藤沢労働基準監督署 第二方面主任監督官 古谷寛之氏 ・着任のご挨拶 藤沢労働基準監督署 署長 下川眞徳氏 ・藤沢労働基準監督署からのお知らせ 藤沢労働基準監督署組織図(4/1付) ・第13次労働災害防止推進計画の結果について ・2022年藤沢支部無災害事業場紹介 株式会社タクマテクノス 藤沢事業所 有限会社トライ コーポレーション 株式会社ダイフク オートモーティブ事業部 いすゞ保険サービス株式会社営業第二部 ・当面の支部行事予定 全国安全週間・労働衛生週間地区推進大会行事予定 ・労働保険のお知らせ ・「安・健・快 雑感」東海カーボン(株)湘南工場 澤口 崇氏 ・編集後記 新明和工業(株) 高松信英氏 		
	広報誌 “藤沢”	第332号	6月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度「全国安全週間を迎えて」藤沢労働基準監督署 署長 下川眞徳氏 ・第96回全国安全週間湘南地区推進大会 6月8日(木) 於:藤沢市民会館 ・労働者数50人未満の事業場を支援 「湘南地域産業保健センター」 ・藤沢労働基準監督署からのお知らせ STOP! 熱中症クールワークキャンペーン ・「安・健・快 雑感」(株)明治 神奈川工場 小倉 一彰氏 ・当面の支部行事予定 ・編集後記 モリタ宮田工業(株) 北田 ゆかり氏 		
	第333号	9月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度「全国労働衛生週間を迎えて」藤沢労働基準監督署 署長 下川眞徳氏 ・第74回全国労働衛生週間湘南地区推進大会 9月7日(木) 於:藤沢市民会館 ・令和5年度 神奈川労働局安全衛生表彰式 7月7日(金) 於:神奈川労働局 株式会社ヤクルト本社湘南化粧品工場 神奈川労働局長優良賞を受賞 ・「藤沢支部における実効性のある活動についての紹介」6月28日(水)於:いすゞ自動車(株)藤沢工場 ・藤沢労働基準監督署からのお知らせ 第74回全国労働衛生週間 ・「安・健・快 雑感」三菱電機(株)情報技術総合研究所 五十嵐 郁枝氏 ・当面の支部行事予定 ・編集後記 日産工機(株) 松本 圭治氏 			
	第334号	1月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・年頭にあたって 公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会 藤沢支部 支部長 森 淳美氏 ・新年を迎えて 藤沢労働基準監督署 署長 下川眞徳氏 ・経営者セミナー開催のご案内 ・「安・健・快 雑感」(株)ユニテック 桐原 芳雄氏 ・事務局からのお知らせ ・当面の支部行事予定 ・令和5年度 神奈川労務安全衛生大会開催される ・第82回 全国産業安全衛生大会開催される ・編集後記 メルシャン(株)藤沢工場 横井 健氏 			

3. 会員事業場数の推移と構成

(1) 会員事業場数

2024年3月31日現在	入会数	退会数	2023年3月31日現在
307	0	9	316

(2) 規模別会員数<2024年3月31日現在>

従業員数	事業場数		従業員数	事業場数		従業員数	事業場数	
	2023年度	2022年度		2023年度	2022年度		2023年度	2022年度
50人以下	130	133	401~500	5	8	1,001~1,500	4	5
51~100	45	46	501~600	10	7	1,501~2,000	2	2
101~150	41	43	601~700	12	10	2,001~3,000	1	1
151~200	22	23	701~800	2	4	3,001~4,000	0	0
201~300	17	19	801~900	0	0	4,001人以上	2	2
301~400	12	12	901~1000	2	1	合計	307	316

(3) 地区別事業場数<2024年3月31日現在>

区分	年	藤沢	鎌倉	茅ヶ崎	寒川	他	合計	備考
事業場	2023年度	144	45	66	45	7	307	事業数
		46.9	14.7	21.5	14.7	2.3	100	率
	2022年度	147	49	66	47	7	316	事業数
		46.5	15.5	20.9	14.9	2.2	100	率
従業員	2023年度	35,426	12,398	8,781	7,122	320	64,047	従業員数
		55.3	19.4	13.7	11.1	0.5	100	率
	2022年度	37,175	12,923	8,198	7,654	320	66,270	従業員数
		56.1	19.5	12.4	11.5	0.5	100	率

(4) 入会事業場数：0社<2023年度入会事業場>

(5) 退会事業場数：9社<2023年度退会事業場>

業種	事業場名	従業員数	理由	退会月	地区
教育・研究	学校法人 鎌倉女子大学	402	災害発生時案ない為	4	鎌倉
弁当製造	株式会社 大船軒	86	移転	5	鎌倉
養生・クリーニング	株式会社 Crea Box	14	連絡途絶の為	6	藤沢
製造業	カントーテクノ株式会社	34	会社廃業	7	寒川
百貨店	株式会社 さいか屋藤沢店	98	団体入会整理	8	藤沢
製造業	是村旭ダイヤモンド工業株式会社	48	移転	2	藤沢
製造業	株式会社 第一パック 大船工場	34	会社の状況変化の為	2	藤沢
製造業	AIマテック(株)プロセス装置事業本部	52	移転	3	寒川
医薬品研究開発	AXCELEAD Drug Discovery Partners (株)	278	予算都合のため	3	寒川
合計	9社	1046人			

(6) 社名変更： 社<2023年度社名変更事業場>

変更後	変更前
アイシンシロキ(株)藤沢工場	シロキ工業(株)藤沢工場

4. 表 彰

(1) 2023年 無災害事業場表彰 (1事業所)

「無災害事業場表彰制度」に基づく(従業員数100人未満の会員事業場)

(順不同敬称略)

無災害対象期間 2021年1月1日～2023年12月31日	藤沢生コン株式会社
----------------------------------	-----------

(2) 2023年度 支部功労者表彰 (6名)

「功労者表彰対象基準」に基づく

(順不同敬称略)

役名/部会名	氏 名	就任期間	事業所名
安全部会	木村 和彦	4年7ヶ月	日本精工(株)藤沢工場
安全部会	小倉 一彰	3年	(株)明治 神奈川工場
衛生部会	内田 富定	3年	河西工業(株)
衛生部会	五十嵐 郁枝	3年	三菱電機(株)情報技術総合研究所
衛生部会	河野 通晴	3年	東邦チタニウム(株)
広報部会	石崎 隆之	5年	三菱電機(株)鎌倉製作所

(3) 令和5年度 神奈川労務安全衛生協会会長賞受賞者(本部)

本部「労務安全衛生功労者表彰規程」に基づく

労務安全衛生功労賞(5名)

(順不同敬称略)

氏 名	事業所名	支部活動部会
澤口 崇	東海カーボン(株)湘南工場	労務部会
原 和之	コベルコ溶接テクノ株式会社	労務部会
篠崎 陽介	ミネベアミツミ株式会社藤沢工場	安全部会
横井 健	メルシャン(株)藤沢工場	広報部会
石崎 隆之	三菱電機(株)鎌倉製作所	広報部会

2023年度 正味財産増減計算書（総括表）

<2023年4月1日～2024年3月31日>

(単位：円)

		2023年度	2022年度	差異	2023予算額
I. 一般正味財産増減の部					
経常増減の部					
1. 受取会費	益	5,748,010	5,871,070	▲ 123,060	5,700,000
受取会費		5,748,010	5,871,070	▲ 123,060	5,700,000
2. 事業収益	益	14,115,900	16,755,382	▲ 2,639,482	11,400,000
教育講習収益		496,940	1,290,260	▲ 793,320	1,100,000
技能講習収益		10,013,255	11,556,383	▲ 1,543,128	7,100,000
刊行物収益		3,605,705	3,908,739	▲ 303,034	3,200,000
3. 雑収益	益	106,173	92,477	13,696	1,000
受取利息		363	328	35	1,000
雑収益		105,810	92,149	13,661	0
4. 受取寄附	益	1,284,653	1,345,941	▲ 61,288	1,200,000
5. 特定資産運用益		0	0	0	0
特定資産受取利息		0	0	0	0
		21,254,736	24,064,870	▲ 2,810,134	18,301,000
1. 事業費	損	14,055,752	16,657,216	▲ 2,601,464	12,561,600
給料手当		5,094,411	6,825,063	▲ 1,730,652	5,040,000
法定福利費		1,487,305	5,903,254	▲ 4,415,949	1,400,000
福利厚生費		215,670	721,545	▲ 505,875	210,000
出向負担金		48,156	104,568	▲ 56,412	70,000
旅費交通費		3,000,000	0	3,000,000	3,000,000
退職給付費用		343,280	95,696	247,584	360,000
退職給付費用		0	0	0	0
経費		2,848,530	1,785,281	1,063,249	1,581,600
通信運搬費		333,684	376,450	▲ 42,766	430,000
消耗品費		137,157	87,712	49,445	150,000
光熱水料費		178,253	97,524	▲ 19,271	105,000
賃借料		1,213,320	1,185,480	27,840	808,500
減価償却費		0	0	0	0
設備減価償却費		0	0	0	0
備品減価償却費		38,116	38,115	1	38,100
雑費		1,048,000	0	1,048,000	50,000
調査研究費		75,350	69,300	6,050	260,000
委員会運営費		75,350	69,300	6,050	260,000
技能教育費		5,623,641	7,563,752	▲ 1,940,111	5,200,000
教育講習費		176,320	447,310	▲ 270,990	340,000
技能講習費		2,490,020	3,830,870	▲ 1,340,850	2,300,000
刊行物購入費		2,957,301	3,285,572	▲ 328,271	2,560,000
広報費		413,820	413,820	0	480,000
機関誌発行費		413,820	413,820	0	480,000
大会費		0	0	0	0
2. 管理費	損	2,327,094	4,383,994	▲ 2,056,900	2,377,800
給料手当		750,479	2,884,011	▲ 2,133,532	690,000
法定福利費		637,418	2,529,966	▲ 1,892,548	600,000
福利厚生費		92,422	309,231	▲ 216,809	90,000
旅費交通費		20,639	44,814	▲ 24,175	0
退職給付費用		0	0	0	0
退職金		0	0	0	0
経費		1,576,615	1,499,983	76,632	1,687,800
印刷製本費		47,266	44,585	2,681	50,000
会議費		48,470	243,580	▲ 195,110	200,000
光熱水料費		33,537	41,796	▲ 8,259	45,000
賃借料		442,800	442,800	0	346,500
租税公課		730,800	567,900	162,900	580,000
負担金支出		0	0	0	200,000
減価償却費		0	0	0	0
設備減価償却費		0	0	0	0
備品減価償却費		0	0	0	0
雑費		16,334	16,335	▲ 1	16,300
雑費		257,408	142,987	114,421	250,000
		16,382,846	21,041,210	▲ 4,658,364	14,939,400
当期経常増減額		4,871,890	3,023,660	1,848,230	3,361,600
当期一般正味財産増減額		4,871,890	3,023,660	1,848,230	3,361,600
正味財産期首残高		24,216,819	21,193,159	3,023,660	18,932,676
II. 正味財産期首末高		29,088,709	24,216,819	4,871,890	22,294,276

2023年度 正味財産増減計算書（内訳書） <2023年4月1日～2024年3月31日>

小数点以下は切上げとする

（単位：円）

科 目	公 益 事 業				<注記参照>		法人会計 <注記参照>	内部 取引 消去	計
	公益事業1	公益事業2	公益事業3	共通費	小計				
I. 一般正味財産増減の部									
経常増減の部									
1. 受取会費	0	0	0	2,874,005	2,874,005	2,874,005	0	0	5,748,010
受取会費	0	0	0	2,874,005	2,874,005	2,874,005	0	0	5,748,010
2. 事業収益	1,218,081	12,537,249	360,571	0	14,115,900	0	0	0	14,115,900
教育講習収益	496,940	0	0	0	496,940	0	0	0	496,940
技能講習収益	0	10,013,255	0	0	10,013,255	0	0	0	10,013,255
刊行物収益	721,141	2,523,994	360,571	0	3,605,705	0	0	0	3,605,705
3. 雑収益	0	0	0	182	182	105,992	0	0	106,173
受取利息	0	0	0	182	182	182	0	0	363
雑収益	0	0	0	0	0	105,810	0	0	105,810
4. 受取着払費	0	0	0	642,327	642,327	642,327	0	0	1,284,653
5. 特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1,218,081	12,537,249	360,571	3,516,513	17,632,413	3,622,323	0	0	21,254,736
1. 事業費	2,187,557	9,149,208	1,494,788	1,224,199	14,055,752	0	0	0	14,055,752
雑	916,704	3,208,463	458,352	510,893	5,094,411	0	0	0	5,094,411
給料手当	208,223	728,779	104,111	446,192	1,487,305	0	0	0	1,487,305
法定福利費	30,194	105,678	15,097	64,701	215,670	0	0	0	215,670
福利厚生費	9,631	33,709	4,816	0	48,156	0	0	0	48,156
出向負担金	600,000	2,100,000	300,000	0	3,000,000	0	0	0	3,000,000
旅費交通費	68,656	240,296	34,328	0	343,280	0	0	0	343,280
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑	503,073	1,380,614	251,536	713,307	2,848,530	0	0	0	2,848,530
通信運搬費	66,737	233,579	33,368	0	333,684	0	0	0	333,684
消耗品費	27,431	96,010	13,716	0	137,157	0	0	0	137,157
光熱水料費	10,955	38,344	5,478	23,476	78,253	0	0	0	78,253
賃借料	169,865	594,527	84,932	363,996	1,213,320	0	0	0	1,213,320
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
設備減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
備品減価償却費	8,004	14,675	4,002	11,435	38,116	0	0	0	38,116
雑	220,080	403,480	110,040	314,400	1,048,000	0	0	0	1,048,000
調査研究費	0	0	75,350	0	75,350	0	0	0	75,350
委員会運営費	0	0	75,350	0	75,350	0	0	0	75,350
技能教育費	767,780	4,560,131	295,730	0	5,623,641	0	0	0	5,623,641
教育講習費	176,320	0	0	0	176,320	0	0	0	176,320
技能講習費	0	2,490,020	0	0	2,490,020	0	0	0	2,490,020
刊行物購入費	591,460	2,070,111	295,730	0	2,957,301	0	0	0	2,957,301
2. 広報費	0	0	413,820	0	413,820	0	0	0	413,820
機関誌発行費	0	0	413,820	0	413,820	0	0	0	413,820
大会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 管理費	0	0	0	0	0	2,327,094	0	0	2,327,094
雑	0	0	0	0	0	750,479	0	0	750,479
給料手当	0	0	0	0	0	637,418	0	0	637,418
法定福利費	0	0	0	0	0	92,422	0	0	92,422
福利厚生費	0	0	0	0	0	20,639	0	0	20,639
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑	0	0	0	0	0	1,576,615	0	0	1,576,615
印刷製本費	0	0	0	0	0	47,266	0	0	47,266
会議費	0	0	0	0	0	48,470	0	0	48,470
光熱水料費	0	0	0	0	0	33,537	0	0	33,537
賃借料	0	0	0	0	0	442,800	0	0	442,800
租税公課	0	0	0	0	0	730,800	0	0	730,800
負担金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
設備減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
備品減価償却費	0	0	0	0	0	16,334	0	0	16,334
雑	0	0	0	0	0	257,408	0	0	257,408
経常費用計	2,187,557	9,149,208	1,494,788	1,224,199	14,055,752	2,327,094	0	0	16,382,846
当期経常増減額	▲ 969,476	3,388,041	▲ 1,134,218	2,292,314	3,576,661	1,295,229	0	0	4,871,890
当期一般正味財産増減額									4,871,890
正味財産期首残高									24,216,819
正味財産期末残高									29,088,709

<注記> 公益事業1：労働基準法、労働安全衛生法及び関係法令の普及啓発に関する事業
 公益事業2：労働安全衛生法による技能講習、特別教育、養成講習に関する事業
 公益事業3：労働福祉向上のための相談、調査、広報に関する事業
 共通費：特定の公益事業と関連付けられない公益事業に係る共通収入、共通費用
 法人会計：公益目的事業（収益事業・共益事業）に属さない、区分できない管理業務に関する管理費や、その他法人全般に関する事項を経理する会計区分

2023年度 貸借対照表

<2024年3月31日現在>

(単位：円)

科 目		2023年度	2022年度	増 減
I 資 産 の 部	1. 流動資産			
	現金預金	16,714,560	11,818,870	4,895,690
	未収入金	0	0	0
	前払金	0	0	0
	立替金	0	0	0
	流動資産合計	16,714,560	11,818,870	4,895,690
	2. 固定資産			
	特定資産			
	退職給付引当預金	0	0	0
	備品購入等積立預金	1,398,250	1,398,250	0
	事務所維持等積立預金	4,000,000	4,000,000	0
	事業運営安定化積立預金	7,561,198	7,561,198	0
	特定資産合計	12,959,448	12,959,448	0
	その他の固定資産			
	設備造作	0	0	0
備 品	86,211	140,661	△ 54,450	
差入保証金	0	0	0	
その他の固定資産合計	86,211	140,661	△ 54,450	
固定資産合計	13,045,659	13,100,109	△ 54,450	
資産合計	29,760,219	24,918,979	4,841,240	
II 負 債 の 部	1. 流動負債			
	前受金	634,150	687,600	△ 53,450
	預り金	37,360	14,560	22,800
	未払金	0	0	0
	流動負債合計	671,510	702,160	△ 30,650
	2. 固定負債			
	退職給付引当金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0	
負債合計	671,510	702,160	△ 30,650	
III 正 味 財 産 の 部	一般正味財産	29,088,709	24,216,819	4,871,890
	(うち特定資産への充当額)	(12,959,448)	(12,959,448)	0
	正味財産合計	29,088,709	24,216,819	4,871,890
負債及び正味財産合計	29,760,219	24,918,979	4,841,240	

2023年度 財産目録

<2024年3月31日現在>

(単位：円)

	科 目	金 額
I 資 産 の 部	1. 流 動 資 産	
	現 金 預 金	
	現 金 手 許 有 高	3,100
	普 通 預 金 横 浜 銀 行 ①	16,170,399
	普 通 預 金 りそな銀行	541,061
	未 収 入 金	0
	前 払 金	0
	立 替 金	0
	流 動 資 産 合 計	16,714,560
	2. 固 定 資 産	
	特 定 資 産	
	退 職 給 付 引 当 預 金	
	普 通 預 金 横 浜 銀 行 ②	0
	備 品 購 入 等 積 立 預 金	
	定 期 預 金 りそな銀行	1,398,250
	事 務 所 維 持 等 積 立 預 金	
	定 期 預 金 りそな銀行	4,000,000
事 業 運 営 安 定 化 積 立 預 金		
定 期 預 金 りそな銀行	3,000,000	
普 通 預 金 横 浜 銀 行 ①	4,561,198	
特 定 資 産 合 計	12,959,448	
そ の 他 の 固 定 資 産		
備 品 ノートパソコン 2台	86,211	
出 資 金	0	
差 入 保 証 金	0	
そ の 他 の 固 定 資 産 合 計	86,211	
固 定 資 産 合 計	13,045,659	
資 産 合 計	29,760,219	
II 負 債 の 部	1. 流 動 負 債	
	前 受 金	634,150
	預 り 金	37,360
	未 払 金	0
	流 動 負 債 合 計	671,510
	2. 固 定 負 債	
	退 職 給 付 引 当 金	0
固 定 負 債 合 計	0	
負 債 合 計	671,510	
正 味 財 産 合 計	29,088,709	

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却方法 備品……定額法による減価償却を実施している。
- (2) 引当金の計上基準 退職給付引当金……期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。
- (3) 消費税の会計処理は、税込方式により行っている。

2. 特定資産の明細は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	増減の理由
特 定 資 産					
退職給付引当預金	0	0	0	0	
備品購入等積立預金	1,398,250	0	0	1,398,250	
事務所維持等積立預金	4,000,000	0	0	4,000,000	
事業運営安定化積立預金	7,561,198	0	0	7,561,198	
特 定 資 産 計	12,959,448	0	0	12,959,448	

3. 特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残	(うち指定 正味財産から の充当額)	(うち一般 正味財産から の充当額)	(うち負債に 対応する額)
特 定 資 産				
退職給付引当預金	0	(ー)	(ー)	(ー)
備品購入等積立預金	1,398,250	(ー)	(1,398,250)	(ー)
事務所維持等積立預金	4,000,000	(ー)	(4,000,000)	(ー)
事業運営安定化積立預金	7,561,198	(ー)	(7,561,198)	(ー)
合 計	12,959,448	0	12,959,448	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。(単位：円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
備品 (ノートパソコン:2010年度購入)	189,000	188,999	1
備品 (ノートパソコン:2021年度購入)	195,110	108,900	86,210
合 計	384,110	297,899	86,211

5. 引当金の明細は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当 期 減 少 額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0

<付 属 明 細 書>

1. 特定資産の明細は、財務諸表の注記に記載してある。
2. 引当金の明細は、財務諸表の注記に記載してある。

2023年度会計監査報告

2023年度 公益財団法人神奈川労務安全衛生協会藤沢支部収支決算について
下記のとおり会計監査を行った結果、正確に記録、計算されていることを
認めます。

2024年4月11日

公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会藤沢支部

監 査 プレス工業株式会社 藤沢工場

阿 部 正 弘



監 査 TOTO株式会社 茅ヶ崎工場

久 田 啓 介



上記のとおり報告します。

2024年4月11日

公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会藤沢支部

支部長 いすゞ自動車株式会社 藤沢工場

森 淳 美



『第3号議案』

2024年度 事業計画 (案)

1. 概要

2023年度から第14次労働災害防止計画がスタートしました。第14次労働災害防止計画は「行動災害」の増加に対して事業者や労働者における意識高揚を図るべく、自発的取り組みを促す施策が盛り込まれています。

1年目である2023年度の藤沢管内の労働災害の発生件数は、新型コロナウイルス感染症を除くと微減となり、増加傾向に歯止めがかかった状態となりました。一方、死亡災害については、前年対比2倍以上の増加と憂慮すべき事態となっております。特に、建設業界における墜落事故が顕在化されてきており、その対策が急務と思われれます。また、依然として「転倒」、特に高齢者の災害が目立っており、その対策を継続していく必要があります。また、業種別では第三次産業（小売業や社会福祉施設等の保健衛生業、飲食店等のサービス業）及び陸上貨物運送事業も災害発生件数が多いため、更なる安全対策の強化や安全衛生管理体制の整備も一層進められるものと思われれます。

製造業においては、重篤度の高い災害も多いことから「機械の包括的な安全基準に関する指針」によるリスクアセスメントの促進や、「挟まれ・巻き込まれ」災害の防止を重点とした、機械設備の本質安全化対策の徹底、そして労働災害防止団体と連携した取り組みが引き続き重要と思われれます。

職場における労働者の健康保持増進に関する問題については、働き方改革への対応、メンタルヘルス不調、労働者の高齢化や女性の就業率の上昇に伴う健康課題への対応、治療と仕事の両立支援やテレワークの拡大等多様化しており、現場のニーズの変化に対応した産業保健体制や活動の見直しが必要となります。また、DXの進展も踏まえ、労働者の理解・協力を得ながら、プライバシー等の配慮やその有用性を評価しつつ、ウェアラブル端末、VRやAI等の活用を図る等、就業形態の変化はもとより、価値観の多様化等、今後さらなる改革が求められると思われれます。

このような労働安全衛生行政の取り組みに合わせて、各種講習会にも引き続き力を入れて取り組んでいくことといたします。また、化学物質の自主的な管理への移行に伴う各種講習会の開催も継続して取り組んでまいります。

死亡災害を発生させないためにも藤沢労働基準監督署と連携し、全産業において安全衛生活動の推進および災害件数減少のため、より一層の取り組みを推し進めてまいります。

当支部では今年度も労働災害の減少に努め、安心して健康に働くことができる職場環境の実現に向け、労働関係法令等の周知を図るとともに、第14次労働災害防止計画が目指す「多様な形態で働く一人一人が潜在力を十分に発揮できる社会」の実現に貢献できるよう各種講習会の充実、広報誌・ホームページ等による情報提供等、啓発活動に取り組んでまいります。

以上、今年度も会員事業場の皆様方のご支援、藤沢労働基準監督署及び協会本部のご指導をいただきながら、事業活動に取り組む所存ですので、どうかよろしく願いいたします。

基本方針

1. 時宜に対応した実効ある支部活動の推進

各種行事・講習会は、行政の重点実施施策に沿った内容で、藤沢労働基準監督署のご指導をいただきながら、災害件数の多い業種や原因に対して、有効かつ具体的な講習会等を開催してまいります。

近年、事業場における労務安全衛生に対するノウハウの継承が懸念されておりますが、各事業場において一連の活動が、継続且つ適切に運用ができるように労働安全衛生マネジメントシステムの普及・啓発活動を推進します。また、広報誌やホームページを通じて広く事業者に対し、各種行事・講習会の趣旨や情報をPRするとともに、会員事業場のニーズ把握に努め、時宜に対応した活動も取り入れ、実効ある支部活動の推進に努めてまいります。

2. 第三次産業及び小規模事業場への会員拡大の働きかけ

第三次産業の労働者数はサービス業界の進展により全産業の7割を超えております。これに伴い第三次産業における労働災害件数も年々増加傾向にあります。また、第三次産業や小規模事業場は全体的に非正規労働者の割合が高く、労務安全衛生管理の徹底が難しい側面も有しております。

労務管理の適正化と職場安全衛生の確保に向けて、藤沢労働基準監督署と連携し、法的な要求事項をPRしながら、事業規模や事業内容に沿った講習会等も開催し、会員拡大に努めてまいります。

3. 行政及び関係団体との連携強化

藤沢労働基準監督署をはじめとする行政機関の各施策に応じ、会員事業場への働きかけを継続して行うとともに、行政運営方針の周知徹底を推進してまいります。また、管内の労働災害防止等関係6団体の中核としても、責務を果たすために各行事等に対しても積極的な参画を行ってまいります。

4. 公益社団法人としての適正かつ健全な神奈川労務安全衛生協会藤沢支部運営

会員事業場の皆様のご意見、藤沢労働基準監督署及び協会本部のご指導をいただきながら、公益社団法人神奈川労務安全衛生協会藤沢支部としての適正かつ健全な支部運営を行ってまいります。また、支部の運営に欠かせない講習会受講者数を確保できるように時宜に応じたテーマも取り入れた有意義且つ有益な講習会の開催を行ってまいります。

5. 会員減少組織対策

引き続き会員減少を防止するため会員事業場のニーズを収集し、加入メリットがわかるように行政とも連携して取り組みながら、会員減少の歯止めを行ってまいります。

2. 行事計画および事業計画

(1) 支部全体行事計画

行事名		実施予定日	会場	対象者	内容
2024年度通常支部総会		5月17日	藤沢商工会館ミナパーク 多目的ホール1. 2	会 員 来賓者	<議 事> 第1号議案 2023年度事業報告の承認を 求める件 第2号議案 2023年度収支決算の承認を 求める件/会計監査報告 第3号議案 2024年度事業計画の審議の件 第4号議案 2024年度収支予算の審議の件 <表 彰> 2023年無災害事業場表彰：1事業場 2023年度支部功労者：3名
行事名	実施予定日	会場	対象者	内 容／備 考	
関係団体事業	第97回 全国安全週間 湘南地区 推進大会	6月12日	藤沢市民会館 小ホール	会 員 藤沢労働基準監督署 関係団体連絡協議会団体 <安衛協. 建災. 陸災 . 社労. コソル>	1. 開会挨拶/2. 来賓挨拶 3. 来賓祝辞/4. 趣旨説明 5. 特別講演/6. 閉会挨拶
	第75回 全国労働衛生週間 湘南地区 推進大会	9月12日	藤沢市民会館 小ホール	会 員 藤沢労働基準監督署 関係団体連絡協議会団体 <安衛協. 建災. 陸災 . 社労. コソル>	1. 開会挨拶/2. 来賓挨拶 3. 来賓祝辞/4. 趣旨説明 5. 特別講演/6. 閉会挨拶
	令和6年度 経営者セミナー	1月17日	藤沢商工会館 ミナパーク	会 員 藤沢労働基準監督署 関係団体連絡協議会団体 <安衛協. 建災. 陸災 . 社労. コソル>	1. 開会挨拶/2. 来賓挨拶 3. 基調講演/4. 特別講演 5. 閉会挨拶
年末懇親会					
安全衛生祈願		1月10日	寒川神社	労働基準監督署 署長, 安全衛生課長, 支部長, 副支部長, 支部長代行, 副支部長代行, 事務局	
無災害表彰		2024度通常 支部総会 開催日	2024度通常 支部総会 開催会場	会 員	無災害事業場表彰制度に基づく
功労者表彰				役 員	功労者表彰基準に基づく

(2) 常設部会担当事業計画

◎2022年度より講習会のNET申込を開始しました。会員価格から更に300円割引となります。

※テキスト代・昼食代に変更が生じた際は受講料が変更となります

担当	事業名 ●法定講習	実施予定日	会場	募集数	※受講料 (テキスト・昼食等含)
労務	新入社員等(雇入れ時) 安全衛生教育	4月10日	藤沢商工会館 ミナパーク	60	4,500
	労務管理セミナー	9月24日		42	3,300
安 全 部 会	●安全管理者選任時研修	4月25日	藤沢市建設会館 4F大会議室	42	12,850
		10月7日		42	12,850
	●フルハーネス型墜落制止用具 特別教育	6月7日		36	8,350
		7月2日		36	8,350
		9月19日		36	8,350
		12月10日		36	8,350
	●フォークリフト(1t以上) 運転業務従事者安全衛生教育	2月28日			42
●職長教育	4月17日18日	藤沢市建設会館 4 F 大会議室	42	12,500	
	5月27日28日		42	12,500	
	6月26日27日		42	12,500	
	7月25日26日		42	12,500	
	9月26日27日		42	12,500	
	10月29日30日		42	12,500	

担当	事業名 ●法定講習	実施予定日	会場	募集数	※受講料 (テキスト・昼食等含)
安全部会	●職長教育	11月25日26日	藤沢市建設会館 4F大会議室	42	12,500
		1月28日29日		42	12,500
		2月19日20日		42	12,500
	リスクアセスメント研修会	7月18日		36	7,650
	KYT研修会(危険予知訓練)	7月9日		36	7,450
		12月24日		36	7,450
	●職長能力向上教育	8月27日		42	9,550
		1月27日		42	9,550
●アーク溶接等の業務に係る特別教育	10月16日17日 18日	(株)神戸製鋼所藤沢事業所	15	17,650	
●機械研削といしの取り替え又は取替時業務に係る特別教育	10月3日4日	いすゞ自動車(株)藤沢工場 いすゞものづくり サービストレーニングセンター	30	11,750	
●自由研削といしの取り替え又は取替時業務に係る特別教育	11月29日		30	8,850	
衛生部会	●衛生推進者養成講習	6月18日	藤沢市建設会館 4F大会議室	21	10,880
		12月3日		21	10,880
	●安全衛生推進者養成講習会	6月18日19日		21	12,450
		12月3日4日		21	12,450
	●有機溶剤業務従事者に対する特別な労働衛生教育	7月31日		42	6,650
		2月6日		42	6,650
	●粉じん作業特別教育	6月3日		42	6,550
		8月30日		42	6,550
		11月19日		42	6,550
		1月31日		42	6,550
衛生管理者試験準備講習会	9月4日5日	42	18,800		
化学物質管理者選任のための研修	10月9日	36	12,850		
健康づくり研修会<産健連共催事業>	2月13日	藤沢商工会館 ミナパーク	20	3,300	
広報部会	発行No.	発行月日	記事掲載案		
	第335号	5月31日	・2024年度通常支部総会／・着任挨拶／・監督署からのお知らせ<藤沢労働基準監督署>／・2023無災害事業場表彰／・会員事業場紹介／・「安・健・快 雑感」／・新規入会紹介／・支部行事案内／・編集後記など		
	第336号	6月30日	・令和6年度「全国安全週間を迎えて」／・「安・健・快 雑感」／・会員事業場紹介 ・第97回全国安全週間 湘南地区推進大会／・支部行事案内／・編集後記など		
	第337号	9月30日	・令和6年度「全国労働衛生週間を迎えて」／・会員事業場紹介／・「安・健・快 雑感」 ・第75回全国労働衛生週間 湘南地区推進大会／・支部行事案内／・編集後記など		
	第338号	1月4日	・年頭にあたって／・新年を迎えて／・経営者セミナー／・神奈川大会 ・全国大会／・支部行事案内／・会員事業場紹介／・「安・健・快 雑感」／・編集後記など		

『第4号議案』

2024度 正味財産増減予算書(案)

<2024年4月1日～2025年3月31日>

(単位:円)

科 目	公 益 事 業					法人会計	内部 取引消去	計
	公益事業1	公益事業2	公益事業3	共通費	小計			
I. 一般取組推進課の部								
経費増減の部								
1. 受 取 会 費	0	0	0	2,850,000	2,850,000	2,850,000	0	5,700,000
受 取 会 費	0	0	0	2,850,000	2,850,000	2,850,000	0	5,700,000
2. 事 業 収 益	1,400,000	9,100,000	300,000	0	10,800,000	0	0	10,800,000
教 育 講 習 収 益	800,000	0	0	0	800,000	0	0	800,000
技 能 講 習 収 益	0	7,000,000	0	0	7,000,000	0	0	7,000,000
刊 行 物 収 益	600,000	2,100,000	300,000	0	3,000,000	0	0	3,000,000
3. 雑 収 益	0	0	0	500	500	500	0	1,000
受 取 利 息	0	0	0	500	500	500	0	1,000
雑 収 益	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 受 取 寄 附 益				600,000	600,000	600,000		1,200,000
5. 特 定 産 産 運 回 益	0	0	0	0	0	0	0	0
特 定 産 産 受 取 利 息	0	0	0	0	0	0	0	0
	1,400,000	9,100,000	300,000	3,450,500	14,250,500	3,450,500	0	17,701,000
1. 事 業 費	2,671,200	10,280,200	1,585,700	240,000	14,777,100	0	0	14,777,100
給 料 手 当	392,000	1,372,000	196,000	0	1,960,000	0	0	1,960,000
法 定 福 利 費	47,600	166,600	23,800	0	238,000	0	0	238,000
福 利 厚 生 費	14,000	49,000	7,000	0	70,000	0	0	70,000
出 向 負 担 金	600,000	2,100,000	300,000	0	3,000,000	0	0	3,000,000
旅 費 交 通 費	72,000	252,000	36,000	0	360,000	0	0	360,000
退 職 給 付 費 用	0	0	0	0	0	0	0	0
雑 費	533,600	1,848,600	266,900	0	2,649,100	0	0	2,649,100
通 信 運 搬 費	120,000	420,000	60,000	0	600,000	0	0	600,000
消 耗 品 費	36,000	126,000	18,000	0	180,000	0	0	180,000
光 熱 水 料 費	25,200	88,200	12,600	0	126,000	0	0	126,000
賃 借 料	231,000	808,500	115,500	0	1,155,000	0	0	1,155,000
減 価 償 却 費 (a～b計)	11,400	20,900	5,800	0	38,100	0	0	38,100
設 備 減 価 償 却 費 a	0	0	0	0	0	0	0	0
備 品 減 価 償 却 費 b	11,400	20,900	5,800	0	38,100	0	0	38,100
雑 費	110,000	385,000	55,000	0	550,000	0	0	550,000
調 査 研 究 費	0	0	260,000	0	260,000	0	0	260,000
委 員 会 運 営 費	0	0	260,000	0	260,000	0	0	260,000
技 能 教 育 費	1,012,000	4,492,000	256,000	0	5,760,000	0	0	5,760,000
教 育 講 習 費	500,000	0	0	0	500,000	0	0	500,000
技 能 講 習 費	0	2,700,000	0	0	2,700,000	0	0	2,700,000
刊 行 物 購 入 費	512,000	1,792,000	256,000	0	2,560,000	0	0	2,560,000
広 報 費	0	0	240,000	240,000	480,000	0	0	480,000
機 関 誌 発 行 費	0	0	240,000	240,000	480,000	0	0	480,000
大 会 費	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 管 理 費	0	0	0	0	0	2,707,300	0	2,707,300
諸 給	0	0	0	0	0	942,000	0	942,000
給 料 手 当	0	0	0	0	0	840,000	0	840,000
法 定 福 利 費	0	0	0	0	0	102,000	0	102,000
福 利 厚 生 費	0	0	0	0	0	0	0	0
旅 費 交 通 費	0	0	0	0	0	0	0	0
退 職 金	0	0	0	0	0	0	0	0
雑 費	0	0	0	0	0	1,765,300	0	1,765,300
印 刷 製 本 費	0	0	0	0	0	50,000	0	50,000
会 議 費	0	0	0	0	0	200,000	0	200,000
光 熱 水 料 費	0	0	0	0	0	54,000	0	54,000
賃 借 料	0	0	0	0	0	495,000	0	495,000
租 税 公 課	0	0	0	0	0	750,000	0	750,000
負 担 金 支 出	0	0	0	0	0	200,000	0	200,000
減 価 償 却 費 (a～b計)	0	0	0	0	0	16,300	0	16,300
設 備 減 価 償 却 費 a	0	0	0	0	0	0	0	0
備 品 減 価 償 却 費 b	0	0	0	0	0	16,300	0	16,300
雑 費	0	0	0	0	0	0	0	0
	2,671,200	10,280,200	1,585,700	240,000	14,777,100	2,707,300	0	17,484,400
当 期 経 費 増 減 額	▲ 1271200	▲ 1180200	▲ 1285700	3210500	▲ 526600	743200	0	216600
当 期 一 般 取 組 推 進 課 増 減 額	▲ 1271200	▲ 1180200	▲ 1285700	3210500	▲ 526600	743200	0	216600

『第5号議案』

1. 2024年度 役員事業場 (案)

役員事業場 42事業場		● 二役事業場 9事業場
アイシンシロキ(株)藤沢工場	(株) た ま や	
旭ファイバーグラス(株)湘南工場	デンカ(株)大船工場	
アズビル(株)藤沢テクノセンター	東海カーボン(株)湘南工場	
(株) アル パ ッ ク	東京応化工業株式会社 TOK技術革新センター	
池上通信機(株)システムセンター	● T O T O (株) 茅ヶ崎工場	
● いすゞ自動車(株)藤沢工場	東邦チタニウム(株)	
いすゞ自動車(株)藤沢工場 (いすゞ藤沢安全衛生協力会)	トピー工業(株)神奈川製造所	
ウエスタンデジタルテクノロジーズ合同会社	日産工業(株)	
● N O K (株) 湘南 R & D センター	日本ギア工業(株)	
● (株) 荏原製作所藤沢事業所	● 日本精工(株)藤沢工場	
オイレス工業(株)藤沢事業場	● プレス工業(株)藤沢工場	
河西工業(株)	● 三菱電機(株)鎌倉製作所	
キリンビバレッジ(株)湘南工場	三菱電機エンジニアリング(株)鎌倉事業所 (三菱電機鎌倉地区構内事業協力会)	
● (株) 神戸製鋼所藤沢事業所	三菱電機(株)情報技術総合研究所	
コベルコ溶接テクノ(株) (神鋼藤沢安全衛生協力会)	三菱プレシジョン(株)	
(株) 佐賀鉄工所藤沢工場	ミネベアミツミ(株)藤沢工場	
敷島製パン(株)パスコ湘南工場	(株) 明治神奈川工場	
(株) 湘南ユニテック	メルシャン(株)藤沢工場	
新明和工業(株)特装車事業部寒川工場	モリタ宮田工業(株)	
● J X 金属(株)倉見工場	(株)ヤクルト本社湘南化粧品工場	
J X 金属コイルセンター(株)	レンゴ一(株)湘南工場	

2. 2024年度 本部理事 及び 本部部会・委員会 (案)

本部理事 (敬称略)		
理事	いすゞ自動車(株)藤沢工場	森 淳美
理事	三菱電機(株)鎌倉製作所	鳥越 純也

本部部会・委員会 支部選出事業場		
企画部会	いすゞ自動車(株)藤沢工場	支部長代行
労務部会	(いすゞ藤沢安全衛生協力会)	労務部会副部会長
安全部会	日本ギア工業(株)	安全部会副部会長
衛生部会	(株)荏原製作所藤沢事業所	次期衛生部会副部会長
広報部会	デンカ(株)大船工場	広報部会副部会長
産業保健活動(委員会)	いすゞ自動車(株)藤沢工場	支部長事業場

3. 2024年度 役員担当 (案)

二 役	事業場名		二 役	事業場名	
支部長	1	いすゞ自動車(株)藤沢工場	副支部長	2	三菱電機(株)鎌倉製作所
支部長代行			副支部長代行		

監 査	事業場名		事業場名	
	1	TOTO(株)茅ヶ崎工場	2	NOK(株) 湘南 R&D センター

役員幹事会	事業場名		事業場名	
二役事業場	1	いすゞ自動車(株)藤沢工場 支部長代行	2	三菱電機(株)鎌倉製作所 副支部長代行
労務部会	3	オイレス工業(株)藤沢事業場 部会長	4	いすゞ藤沢安全衛生協力会 副部会長
安全部会	5	麒麟ビバレッジ(株)湘南工場 部会長	6	日本ギア工業(株) 副部会長
衛生部会	7	(株)アルバック 部会長	8	アズビル(株)藤沢テクノセンター 副部会長
広報部会	9	TOTO(株)茅ヶ崎工場 部会長	10	デンカ(株)大船工場 副部会長

労務部会	事業場名		事業場名	
部会長	1	オイレス工業(株)藤沢事業場	6	東海カーボン(株)湘南工場
副部会長	2	いすゞ自動車(株)藤沢工場 (いすゞ藤沢安全衛生協力会)	7	三菱電機エンジニアリング(株)鎌倉事業所 (三菱電機鎌倉地区構内事業協力会)
	3	コベルコ溶接テクノ(株) (神鋼藤沢安全衛生協力会)	8	レンゴー(株)湘南工場
	4	JX金属コイルセンター(株)		
	5	(株)たまや		

安全部会	事業場名		事業場名	
部会長	1	麒麟ビバレッジ(株)湘南工場	8	東京応化工業株式会社 TOK技術革新センター
副部会長	2	日本ギア工業(株)	9	トピー工業(株)神奈川製造所
	3	旭ファイバーグラス(株)湘南工場	10	日本精工(株)藤沢工場
	4	いすゞ自動車(株)藤沢工場	11	プレス工業(株)藤沢工場
	5	(株)神戸製鋼所藤沢事業所	12	三菱プレジジョン(株)
	6	(株)佐賀鉄工所藤沢工場	13	ミネベアミツミ(株)藤沢工場
	7	敷島製パン(株)パスコ湘南工場	14	(株)明治 神奈川工場

衛生部会	事業場名		事業場名	
部会長	1	(株)アルバック	7	NOK(株) 湘南 R&D センター
副部会長	2	アズビル(株)藤沢テクノセンター	8	JX金属(株)倉見工場
	3	アイシンシロキ(株)藤沢工場	9	東邦チタニウム(株)
	4	池上通信機(株)システムセンター	10	三菱電機(株)情報技術総合研究所
	5	(株)荏原製作所藤沢事業所	11	(株)ヤクルト本社湘南化粧品工場
	6	河西工業(株)		

広報部会	事業場名		事業場名	
部会長	1	TOTO(株)茅ヶ崎工場	6	三菱電機(株)鎌倉製作所
副部会長	2	デンカ(株)大船工場	7	メルシャン(株)藤沢工場
	3	(株)湘南ユニテック	8	モリタ宮田工業(株)
	4	新明和工業(株)特装車事業部寒川工場	9	ウエスタンデジタルテクノロジーズ合同会社
	5	日産工機(株)		

物流対策委員会	事業場名	
委員長	麒麟ビバレッジ(株)湘南工場	安全部会長

産業保健活動委員会	事業場名	
委員長	いすゞ自動車(株)藤沢工場	支部長事業場

付録 1

公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会 藤沢支部規約

第 1 章 総 則

(名称)

第 1 条 本支部は公益社団法人神奈川労務安全衛生協会（以下「本部」という）藤沢支部（以下「支部」という。）と称する。

(事務所)

第 2 条 支部の事務局は、神奈川県藤沢市におく。

(目的)

第 3 条 支部は本部方針に基づき、支部として事業場等における適正な労働条件の確保、労働災害の防止、健康保持増進等のための活動を促進し、労働福祉の向上と産業・企業の健全な発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第 4 条 支部は前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 労働基準法及び関係法令の普及啓発活動の促進
- (2) 労働災害防止及び職業性疾病予防のための活動の促進
- (3) 労働安全衛生法による技能講習、特別教育等の実施
- (4) 講演会、講習会等の開催
- (5) 労働条件等に関する相談活動
- (6) 情報資料等の収集、調査・研究及び広報
- (7) その他本支部の目的を達成するために必要な事業

(事業年度)

第 5 条 支部の事業年度は、毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとする。

第 2 章 会 員

(会員)

第 6 条 会員は支部組織の地域に所在している事業場、支部の目的に賛同した事業場または同事業場内で構成される団体とする。

(入会)

第 7 条 会員になるには、所定の「入会・退会・変更届様式」に記載し、当該年度の会費を添えて支部長へ申し込み、本部理事会の（以下「理事会」という。）の承認を得なければならない。

(退会)

第 8 条 会員は所定の「入会・退会・変更届様式」に記載し、支部長を通じ会長に届出ることにより任意に退会することができる。

- 2 会員は次に該当した場合には退会したものとみなす。
 - (1) 会員事業場が解散したとき
 - (2) 会費の納入義務を遂行しないとき
 - (3) 会員のすべてが同意したとき

(変更)

第 9 条 会員はその名称、代表者の氏名又は所在地を変更したときは、所定の「入会・退会・変更届様式」に記載し、遅滞なくその旨を支部長に届け出なければならない。

(除名)

第 10 条 会員が次に該当したときは、第 19 条に定める支部総会の決議により総会に会員の除名を求めることができる。

- (1) 支部の目的の達成、又は業務の運営を妨げたとき
- (2) 支部の規約に違反、又は名誉をき損する行為をしたと認められたとき
- (3) その他除名すべき正当な事由があるとき

(会費等)

第 11 条 会員は支部の事業に必要な経費に充てるため別に定める会費を納入しなければならない。

- 2 徴収した会費は、会員が退会又は除名された場合においても返還しない。

第 3 章 支部役員

(支部役員及びその員数)

第 12 条 支部に次の支部役員を置く。

- (1) 支部長 1 名
- (2) 副支部長 若干名
- (3) 支部役員 4 5 名以上 6 0 名以内（支部長及び副支部長を含む）
- (4) 監査 2 名

(支部役員の任免)

第 13 条 支部役員は支部総会において選任し、又は解任する。

- 2 支部役員に欠員が生じた場合には補充役員を選任する。ただし、役員会において業務の執行に支障がないと認めたときはこの限りではない。

(支部役員の任期)

第 14 条 支部役員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。

- 2 支部役員は任期満了後又は辞任後も、新たな支部役員が就任するまでは引続きその職務を行う。
- 3 補欠として選任された支部役員の任期は、その前任者の残任期間とする。

(支部役員の職務)

第 15 条 支部役員は、役員会を構成し、支部業務の決定に参画する。

- 2 支部長は支部を代表し、支部業務を統括する。
- 3 副支部長は支部長を補佐し、支部長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 4 監査は支部の業務並びに経理状況を監査する。

(支部役員の報酬等)

第 16 条 支部役員は、無報酬とする。

- 2 支部役員には、その職務執行に要する費用を払うことができる。

第 4 章 支部総会

(構成)

第 17 条 支部総会は会員をもって構成する。

(種類及び開催)

第18条 支部総会は通常支部総会及び臨時支部総会とする。

- 2 通常支部総会は、毎年1回事業年度終了後、3カ月以内に開催する。
- 3 臨時支部総会は、必要に応じて開催する。

(招集及び議長)

第19条 支部総会は、支部役員会の決議により、支部長が招集する。

- 2 支部総会の招集は、開催日の2週間前までに会員に対して必要事項を記載した書面により通知しなければならない。
- 3 支部総会の議長は出席会員中よりこれを選出する。
- 4 会員の10分の1以上から、支部総会の目的である事項及び招集の理由を記載した書面により召集の請求が支部役員にあったときは、支部長は臨時支部総会を開催しなければならない。

(支部総会の議事及び議決)

第20条 支部総会は、総会員数の2分の1以上の会員の出席をもって成立する。

- 2 支部総会に出席できない会員は、予め通知された事項について他の会員に議決権の行使を委任し、又は書面によって議決権を行使することができる。
- 3 支部総会の議事は出席した会員の過半数によって決議する。

(決議事項)

第21条 支部総会は、次の事項について決議する。

- (1) 支部役員を選任及び解任
 - (2) 予算並びに事業計画の承認
 - (3) 決算並びに事業報告に関する事項
 - (4) 規約の変更
 - (5) 会員の除名に関し、総会へ決定を求める事項
 - (6) 重要な財産の取得及び処分に関する事項
 - (7) 解散に関する事項
 - (8) 前各号に定めるものの他、支部長が必要と認めた事項
- 2 前項の(4)、(5)、(7)の事項については、支部会員の3分の2以上で決議する。

(議事録)

第22条 支部総会の議事については、議事録を作成し議長及び支部総会で選任した支部役員が記名捺印する。

第5章 支部役員会及び支部役員幹事会

(支部役員会)

第23条 支部に役員会をおく。

- 2 役員会は、すべての支部役員及び監査をもって構成する。

(議決)

第24条 役員会は支部役員半数以上の出席をもって成立する。

- 2 役員会の決議は、出席者の過半数をもって行う。

(決議事項)

第25条 役員会は、次の事項について審議決定する。

- (1) 支部総会に提出する議案
- (2) 予算並びに事業計画に関する事項
- (3) 支部運営に必要な事項
- (4) 前各号に定めるものの他、支部長が必要と認めた事項

(議事録)

第26条 役員会の議事については、議事録を作成しなければならない。

(支部役員幹事会)

第27条 支部に支部役員幹事会をおく。

- 2 支部役員幹事会は、支部長代行、副支部長代行、第30条に定める常設部会の部会長ならびに副部会長、および支部長が指名した支部役員をもって構成する。

(決議事項)

第28条 支部役員幹事会は、次の事項について決議し支部役員会に上程する。

- (1) 支部総会に提出する議案
- (2) 予算並びに事業計画に関する事項
- (3) 支部運営に必要な事項
- (4) 前各号に定めるものの他、支部長が必要と認めた事項

第6章 事務局及び常設部会

(事務局)

第29条 支部に事務局を置く。

- 2 事務局の組織・人事・服務規程等は役員会の議決を経て、支部長が定める。

(常設部会)

第30条 支部の事業を円滑に遂行するために労務部会、安全部会、衛生部会、広報部会を置く。
また、安全部会の下部組織として「物流対策委員会」、衛生部会の下部組織として「産業保健活動委員会」を置く。

(常設部会の運営)

第31条 常設部会の運営は次のとおりとする。

- 2 常設部会は、役員事業場から推薦された委員をもって構成し、部会長および副部会長は部員の互選によって決める。
- 3 常設部会の任務は次のとおりとする。
 - (1) 労務部会
 - ① 労務管理に関する事業の企画・立案
 - ② 労務教育に関する実施要領の作成
 - ③ 労務管理に関するテキスト・資料の選定ならびに編集
 - ④ 講師の選任ならびに講師団の編成
 - ⑤ その他労務管理・教育にかかわる事業の計画的推進
 - (2) 安全部会
 - ① 安全管理に関する事業の企画・立案
 - ② 安全教育に関する実施要領の作成
 - ③ 安全管理に関するテキスト・資料の選定ならびに編集

- ④講師の選任ならびに講師団の編成
 - ⑤物流対策委員会の後援
 - ⑥その他安全管理・教育にかかわる事業の計画的推進
- (3) 衛生部会
- ①衛生管理（環境改善を含む）に関する事業の企画・立案
 - ②衛生教育に関する実施要領の作成
 - ③衛生管理に関するテキスト・資料の選定ならびに編集
 - ④講師の選任ならびに講師団の編成
 - ⑤産業保健活動委員会の後援
 - ⑥その他衛生管理・教育にかかわる事業の計画的推進
- (4) 広報部会
- ①支部報に関する企画・立案
 - ②資料の収集ならびに原稿の依頼
 - ③支部報の編集および発行
 - ④その他広報活動の計画的推進

第 7 章 会 計

(会計年度)

第 32 条 支部の会計年度は毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとする。

(会計処理)

第 33 条 支部の会計処理は、本部会計処理規程に基づくものとする。

(会計責任者)

第 34 条 支部の会計責任者は支部長とし、出納管理は支部事務局長が行う。

(予算書の作成)

第 35 条 支部長は毎会計年度開始前に予算案を作成し、役員会の承認を受けなければならない。

(決算書の作成)

第 36 条 支部長は毎会計年度終了後に収支決算書を作成し、監査による会計監査及び役員会の議決を経て支部総会の承認を受けなければならない。

(経費)

第 37 条 支部の経費は会費、事業収入金、寄付金、その他をもってこれにあてる。

- 2 前項の経費は支部長が管理する。

(会費)

第 38 条 会費は別表に定める金額とする。

- 2 期中入会員の会費は別表に定める年会費を月割りにし、当年度残月数分を一括して納入する。

第 8 章 情報公開及び個人情報の保護

(情報公開)

第 39 条 支部は定款第 41 条に基づきその活動状況、運営状況、財務資料等を公開するものとする。

(個人情報の保護)

第 40 条 支部は定款第 42 条に基づき業務上知り得た個人情報の取扱いに万全を期すものとし、情

報漏えい、滅失又はき損やシステムへの不正侵入等の事故を発生もしくは発見したときは、速やかに必要な措置を講ずるものとする。

付 則

- 1 本規約に定めるもののほか、支部の運営に必要な事項は、役員会の決議により別に定める。
- 2 本規約は、支部総会の決議によって変更することができる。
- 3 本規約は平成23年4月1日より施行する。
- 4 本規約は平成30年4月1日より施行する。(第30条 常設委員会の改定)
- 5 本規約は2019年4月1日より施行する。
(第6条 会員、第7条 入会、第8条 退会、第9条 除名、第10条 会費等、第11条 届出、第27条 支部役員幹事会、第30条 常設委員会、第31条 常設委員会の運営の改定)

付録2

会費に関する細則 [別表]

第1条：会員の会費（公益社団法人神奈川労務安全衛生協会(本部)費を含む）として3条の区分による金額を毎年6月末までに納入する。

第2条：公益社団法人神奈川労務安全衛生協会(本部)費は本会費より支出納入する。

第3条：本会費は次のとおりとする。

従業員数（人）	年 額
1 ～ 10	7,200
11 ～ 20	8,400
21 ～ 30	9,600
31 ～ 40	10,800
41 ～ 50	12,000
51 ～ 100	14,400
101 ～ 150	16,800
151 ～ 200	19,200
201 ～ 300	24,000
301 ～ 400	31,200
401 ～ 500	39,600
501 ～ 600	48,000
601 ～ 700	60,000
701 ～ 800	66,000
801 ～ 900	72,000
901 ～ 1000	84,000
1001 ～ 1500	102,000
1501 ～ 2000	120,000
2001 ～ 2500	144,000
2501 ～ 3000	156,000
3001 ～ 3500	168,000
3501 ～ 4000	180,000
4001 ～ 5000	192,000
5000 ～ 6000	204,000
6001 ～ 7000	216,000
7001 ～ 8000	228,000
8001 以上	240,000

付録3

映像教材一覧表 (DVD)

* 当支部会員事業場への貸出しは無料

2024. 4. 1現在

No.	DVD <タイトル>	区 分		時間 (分)	備 考 取得日
		安 全	労働衛生		
D-1	改訂労働安全衛生マネジメントシステムのあらまし	○	○	20	
D-2	新入社員の安全と健康	○	○	22	
D-3	新入社員の安全衛生 ～ルールを守って安全健康～	○	○	18	
D-4	転倒災害はこうして防ぐ ～転ばぬ先の安全の知恵～	○		17	
D-5	「はさまれ・巻き込まれ災害」はなくせる ～みんなで摘みとろう危険の芽～	○		18	
D-6	リスクマネジメント時代の「安全管理者の役割」	○	○	22	
D-7	職長教育シリーズ 第1巻 こんな時あなたならどうする?! ～作業時間中における指導指示の効果的方法～	○		21	
D-8	職長教育シリーズ 第2巻 確認してですか 作業のポイント ～作業手順の上手な活かし方～	○		17	
D-9	職長教育シリーズ 第3巻 異常を異常として感じるか ～異常に対する職場の感性をみがく～	○		20	
D-10	職長教育シリーズ 第4巻 その作業方法で安全は守れますか ～改善ポイントの見つけ方～	○		16	
D-11	職長教育シリーズ 第5巻 作業環境の安全化に向けて ～安全で快適な職場をつくろう～	○	○	18	
D-12	職長・作業リーダーのための作業手順書作成マニュアル (リスクアセスメント対応版)	○	○	20	
D-13	リスクマアセスメント ～工作機械作業編～	○		23	2020. 1
D-14	最新—KYTの進め方 ～基礎4ラウンド法研修用～	○		23	
D-15	どんな危険がひそんでいるか」徹底訓練 ～KYT基礎4ラウンド法の進め方～	○		27	
D-16	フォークリフト作業の安全 ～点検・走行・操作～	○		25	2020. 2
D-17	事故事例から学ぶ フォークリフト作業の安全	○		20	2020. 2
D-18	日々の作業行動災害を防ぐ ～点検・確認・確認!～	○		18	
D-19	やっていますか指差呼称 第2巻 指差呼称の実践方法 ～基本とその活用～	○		15	
D-20	いまなぜ健康づくりか		○	15	
D-21	みんなで進める高齢化への対応 ～安全いきいき職場づくり～		○	20	
D-22	正しい粉じん作業の基礎知識 ～粉じんによる健康障害を防ごう～		○	33	2020. 3
D-23	安全な有機溶剤作業の基礎知識 ～有機溶剤中毒を防ぐには～		○	26	2020. 3
D-24	よい作業環境をつくる換気の基礎知識 ～全体換気・局所排気・プッシュプル換気の話～		○	37	2020. 3